



毎日、発明する会社

2017年4月期 通期決算説明資料

フリービット株式会社

2017/6/9

(注意事項)

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本日のアジェンダ

1. 2017年4月期 通期連結業績

2. 2017年4月期 通期セグメント別業績及び
事業進捗

3. 2018年4月期 業績予想

2017年4月期
通期連結業績サマリ

2017年4月期 通期連結業績トピックス

freebit MVNO Packやスマホ端末売上等の**モバイル事業とアドテクノロジー事業の継続的成長に加え、マンションインターネットの純増**により、売上高は**前期比24.1%増**と大きく伸長

モバイル事業において、**freebit MVNO Packが大きく増収**
新規のサービス開発及びユーザー数増のための販売促進・帯域増により減益

営業利益は、フルスピードの債権未回収の影響及びヘルステック事業の先行投資等により、**前期比30.6%減**となる

純利益については、**フルスピード債権未回収や特別損失等の一過性損失**の影響のため、150百万円の損失計上

来期以降の事業拡大を視野に、**フリービットEPARKヘルスケア及びフォーメンバーズを連結子会社化**

17/04期 業績予想修正について

(単位:百万円)

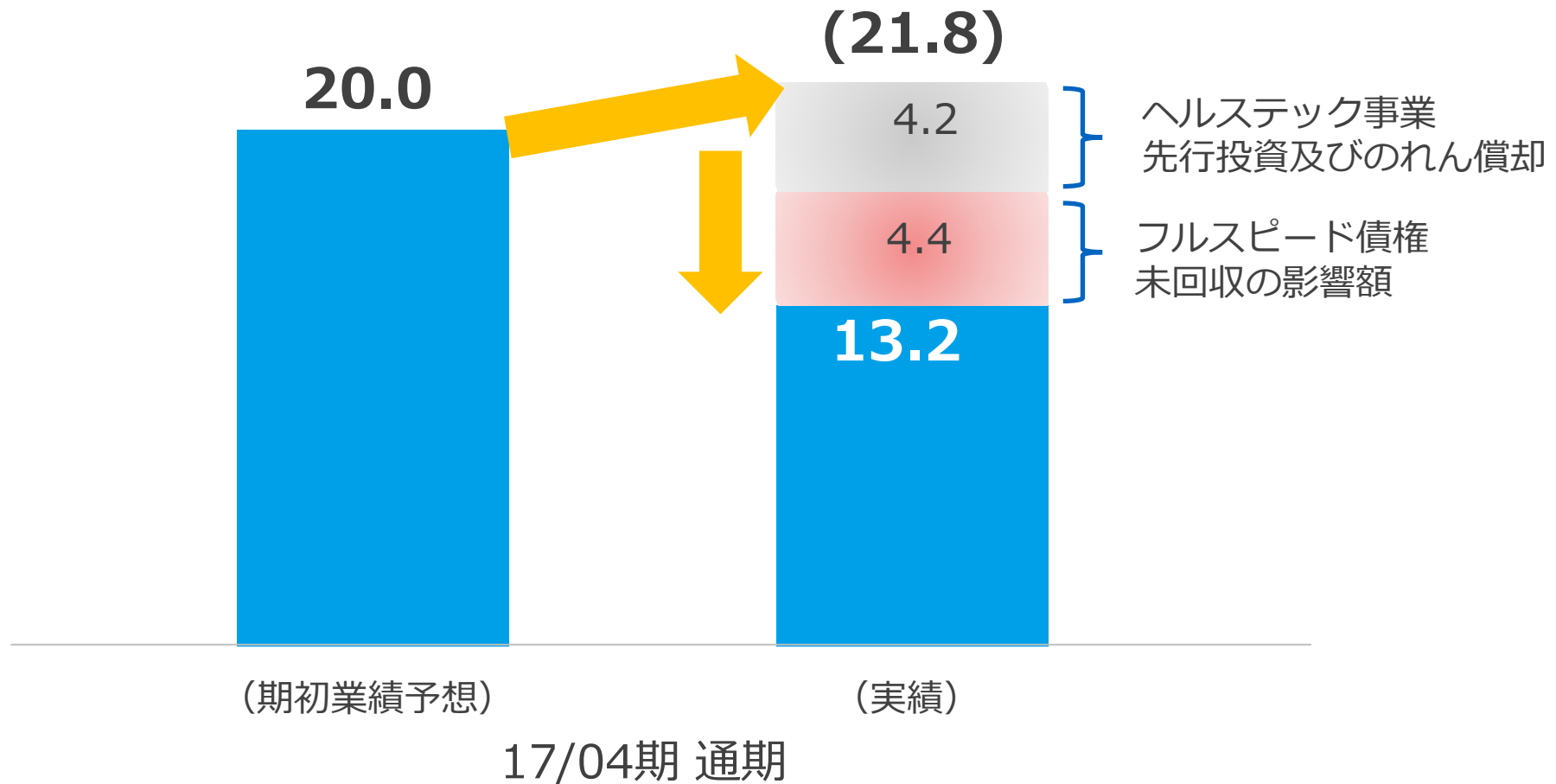
	期初発表予想	修正予想 (4/7発表)	17/04期 通期実績
売上高	35,000	35,600	35,222
営業利益	2,000	1,200	1,321
経常利益	1,500	850	807
親会社株主に帰属する 当期純利益	250	△200	△150
1株当たり 当期純利益	11円26銭	△9円01銭	△6円77銭

売上高については期初予想を達成したものの、下記要因を反映し、営業利益以下の修正を4月7日に発表

- フルスピードの債権未回収の影響額 : 444百万円
- ヘルステック事業の先行投資及びのれん償却 : 421百万円

営業利益期初予想差異

(単位:億円)



フルスピードの債権未回収の影響額とヘルステック事業の先行投資及びのれん償却により期初業績予想を下回る

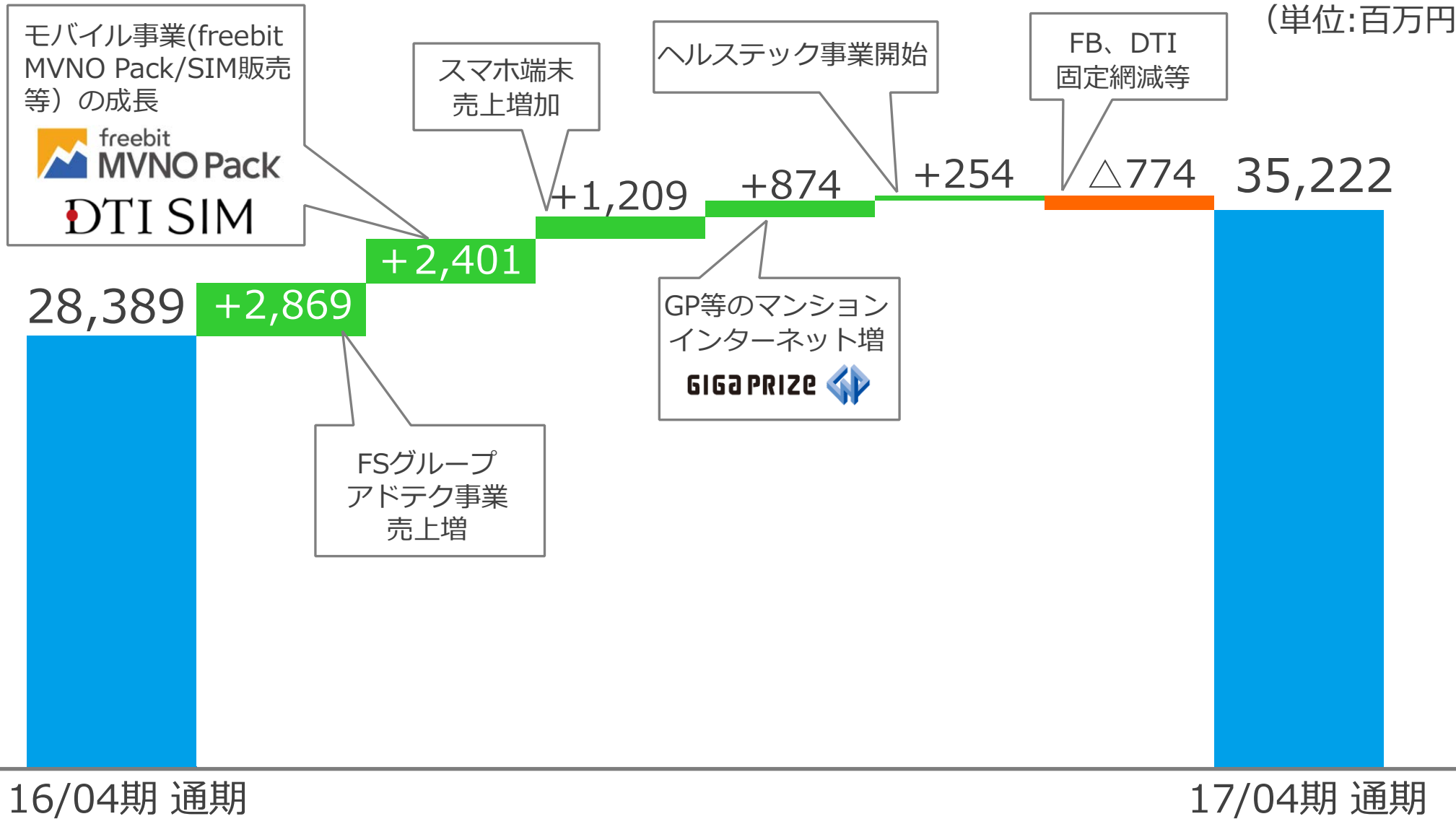
2017年4月期 通期連結業績

(単位:百万円)

	16/04期 通期実績	17/04期 通期実績	前期比	サマリ
売上高	28,389	35,222	+24.1%	モバイル事業及びFSグループのアドテクノロジー事業の継続的成長により増収
EBITDA	2,876	2,513	△12.6%	営業利益減少により減
営業利益	1,902	1,321	△30.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・ freebit MVNO Pack、ギガプライズのマンションインターネットの売上増加に伴い利益も継続的に拡大 ・ フルスピード債権未回収による影響 ・ ヘルステック事業先行投資及びのれん償却による影響
経常利益	1,322	807	△38.9%	営業利益減少により減
親会社株主に 帰属する 当期純利益	553	△150	△703 百万円	今期発生特別損失及び法人税等の計上額増加により前期比減
一株当たり 純利益	24円75銭	△6円77銭	△31円52銭	

前期比差異分析-売上高

(単位:百万円)



モバイル、アドテクノロジー及びマンションインターネットが堅調に推移

売上内訳(セグメント)

(単位:百万円)

フルスピードの債権未回収の影響額

モバイル

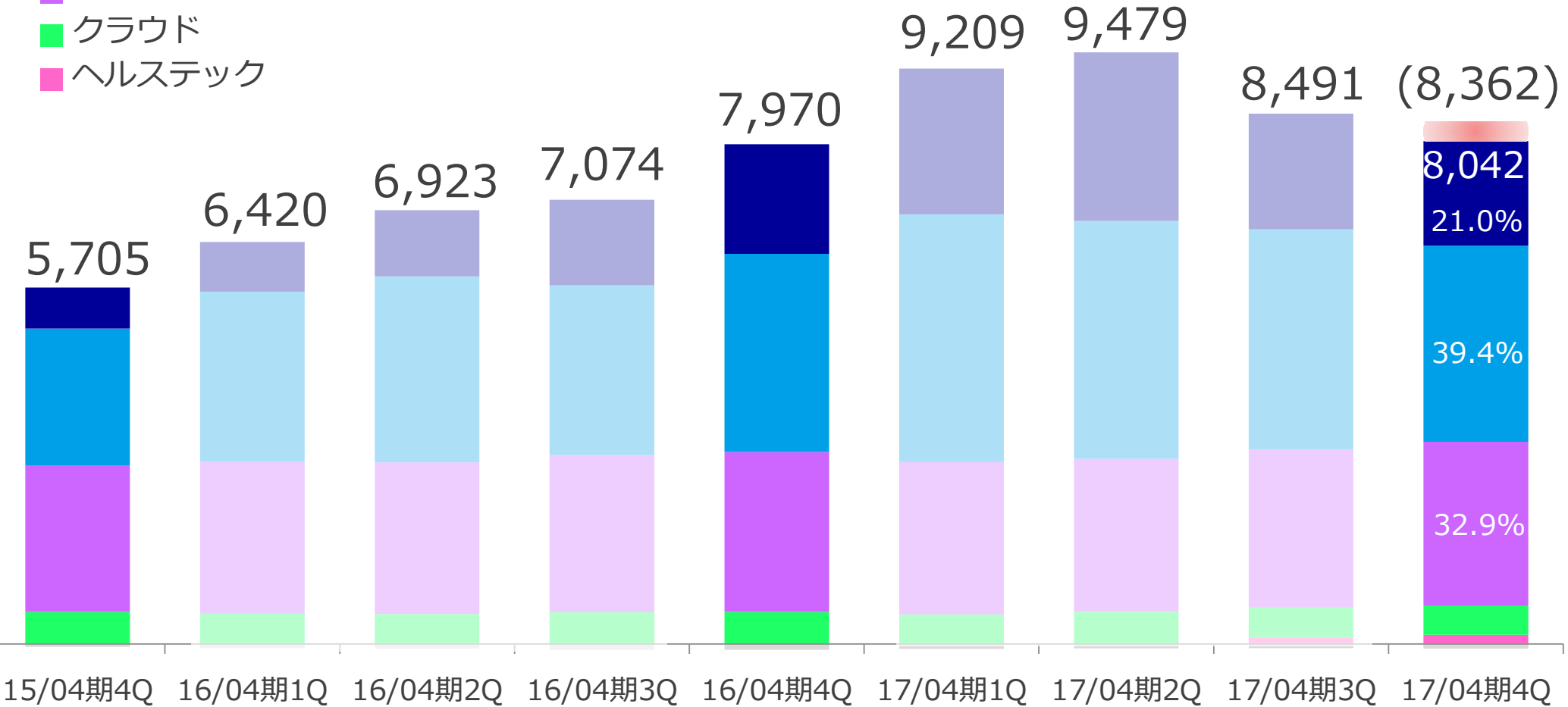
アドテクノロジー

ブロードバンド

クラウド

ヘルステック

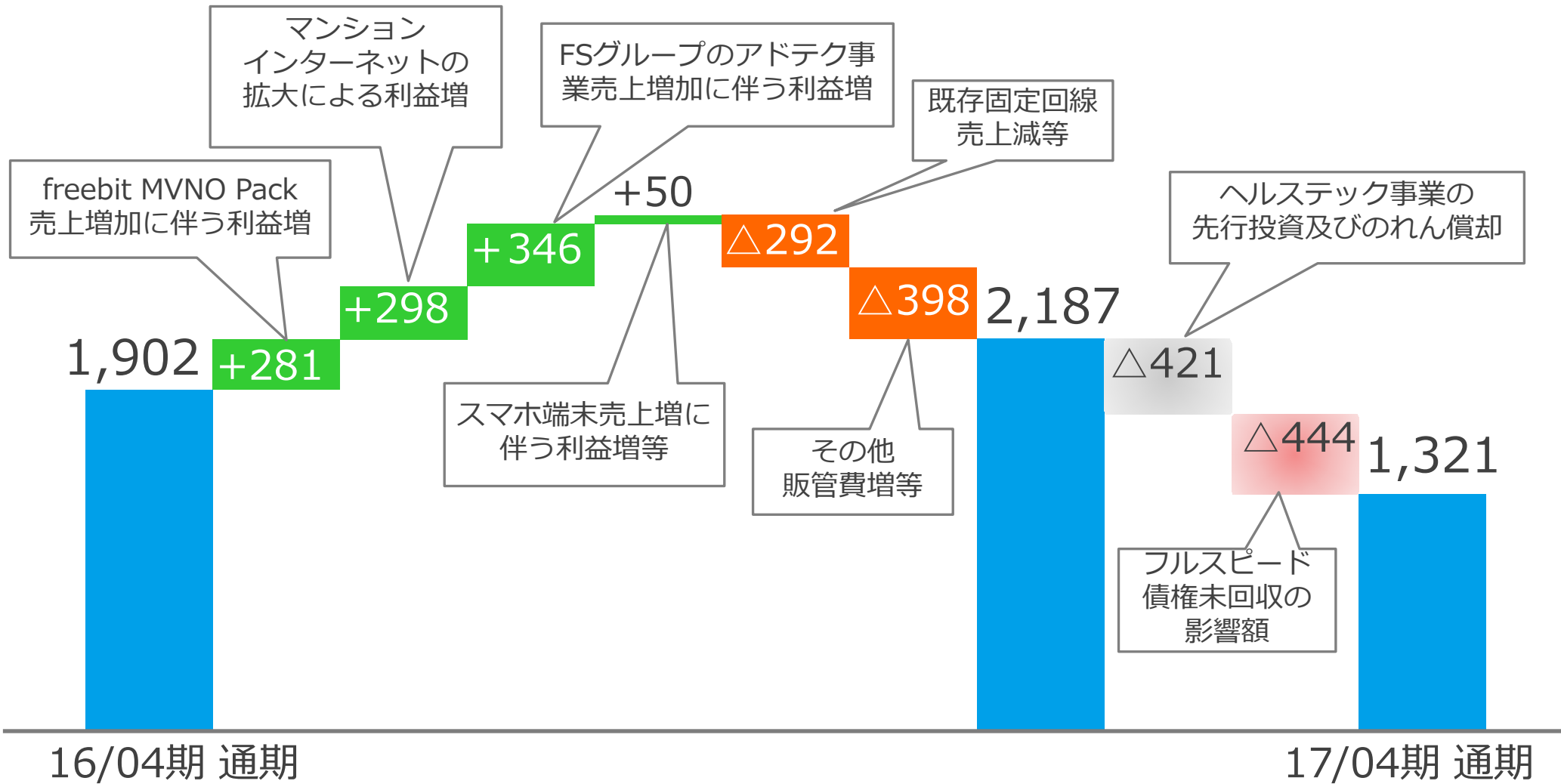
() 内はフルスピード債権未回収の影響額を除いた数値



モバイルとアドテクノロジーの成長により、対前期比では24.1%増収

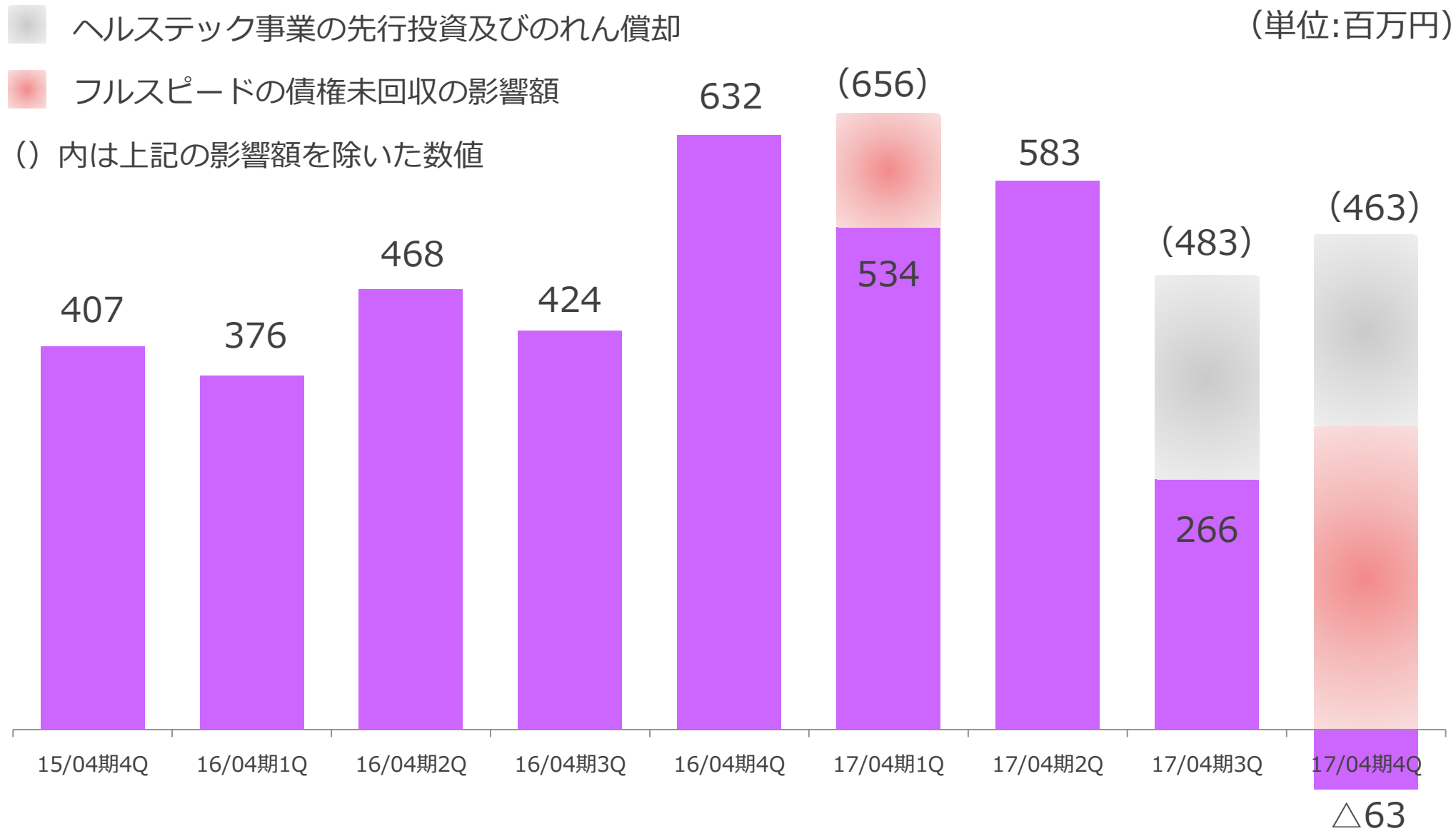
前期比差異分析-営業利益

(単位:百万円)



freebit MVNO Packとマンションインターネットは堅調に推移

営業利益推移

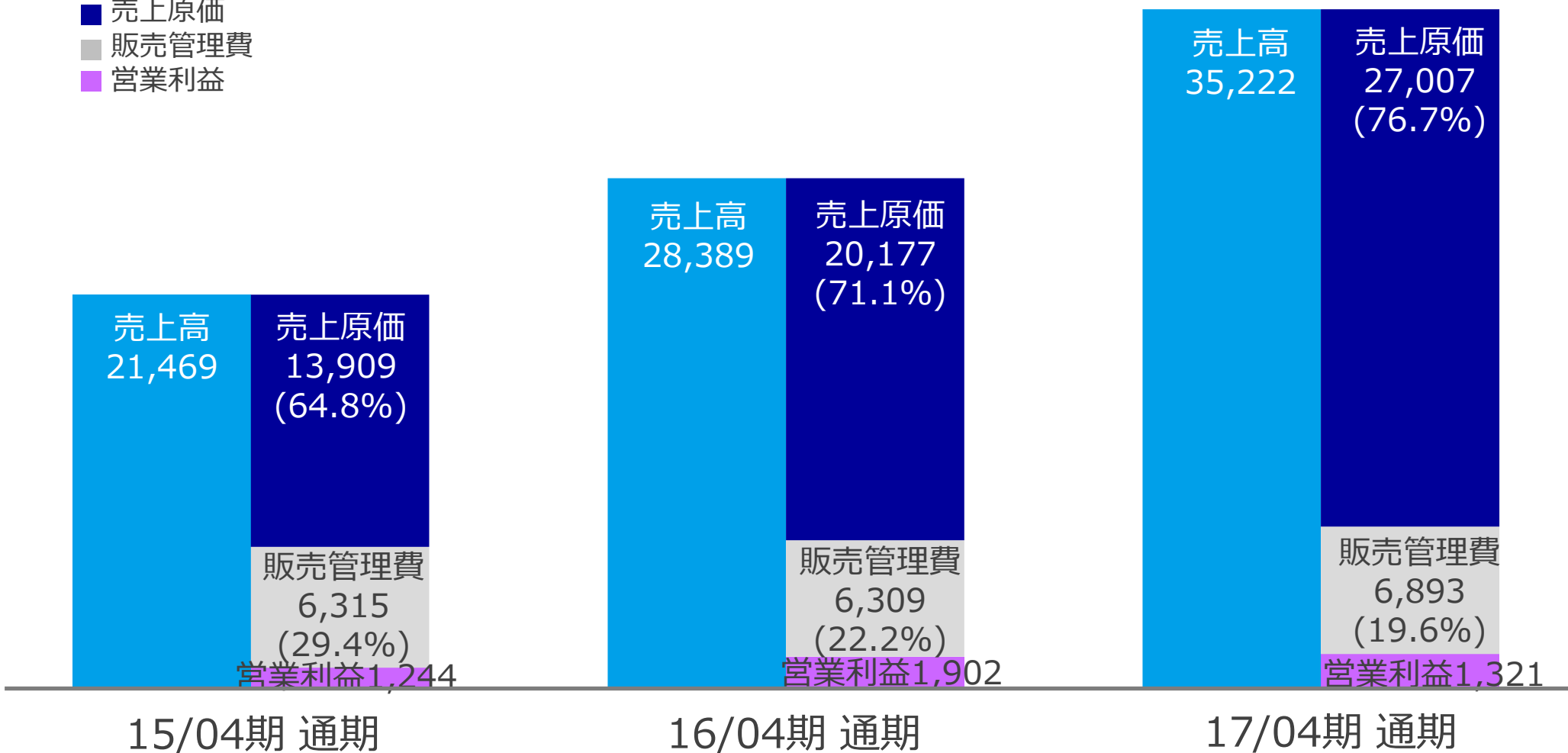


フルスピードの債権未回収の影響額とヘルステック事業の
先行投資及びのれん償却が大きく作用し対前期比減

収益構造推移

(単位:百万円)

- 売上高
- 売上原価
- 販売管理費
- 営業利益



NW関連費用の増加やフルスピードの債権未回収の影響により
売上原価比率が増加したものの、販売管理費率は減少

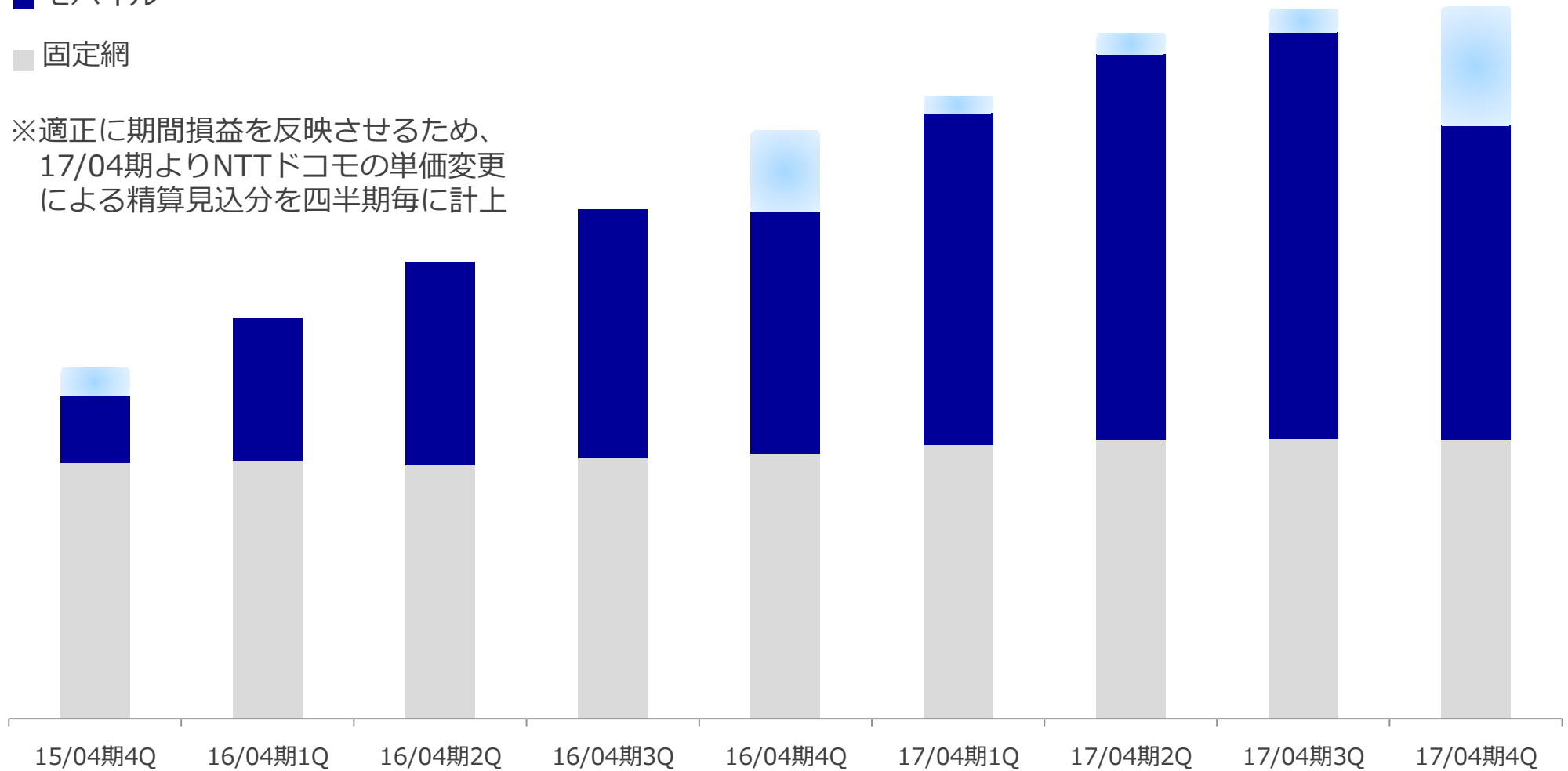
ネットワーク関連費用推移

■ NTTドコモの単価変更による精算分

■ モバイル

■ 固定網

※適正に期間損益を反映させるため、
17/04期よりNTTドコモの単価変更
による精算見込分を四半期毎に計上



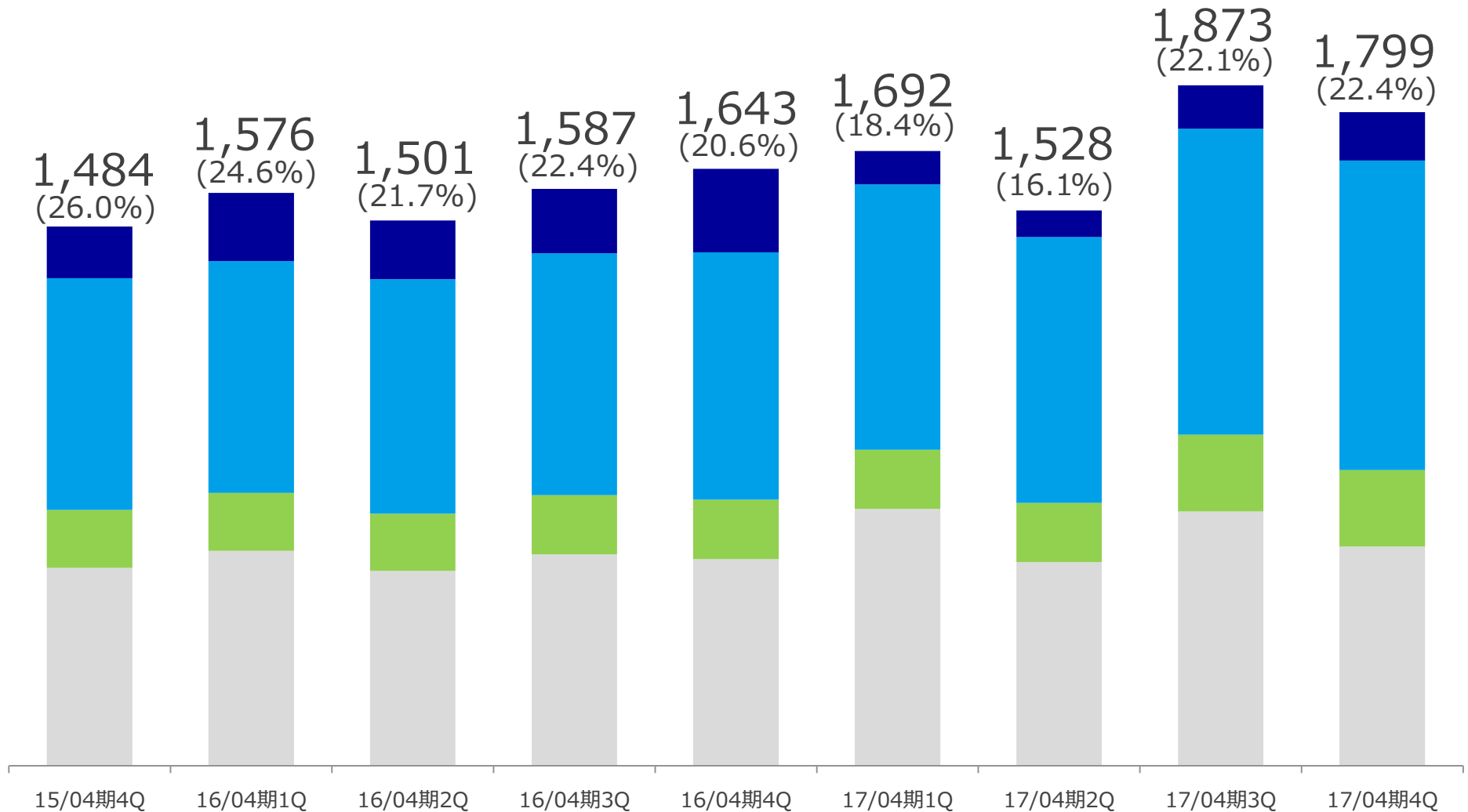
freebit MVNO Packの売上増加に伴う帯域仕入費用が増加
マンションインターネット売上増により通信コストは微増傾向

販売管理費推移

(単位:百万円)

■ 広告宣伝費及び販売促進費 ■ 人件費 ■ のれん償却額 ■ その他

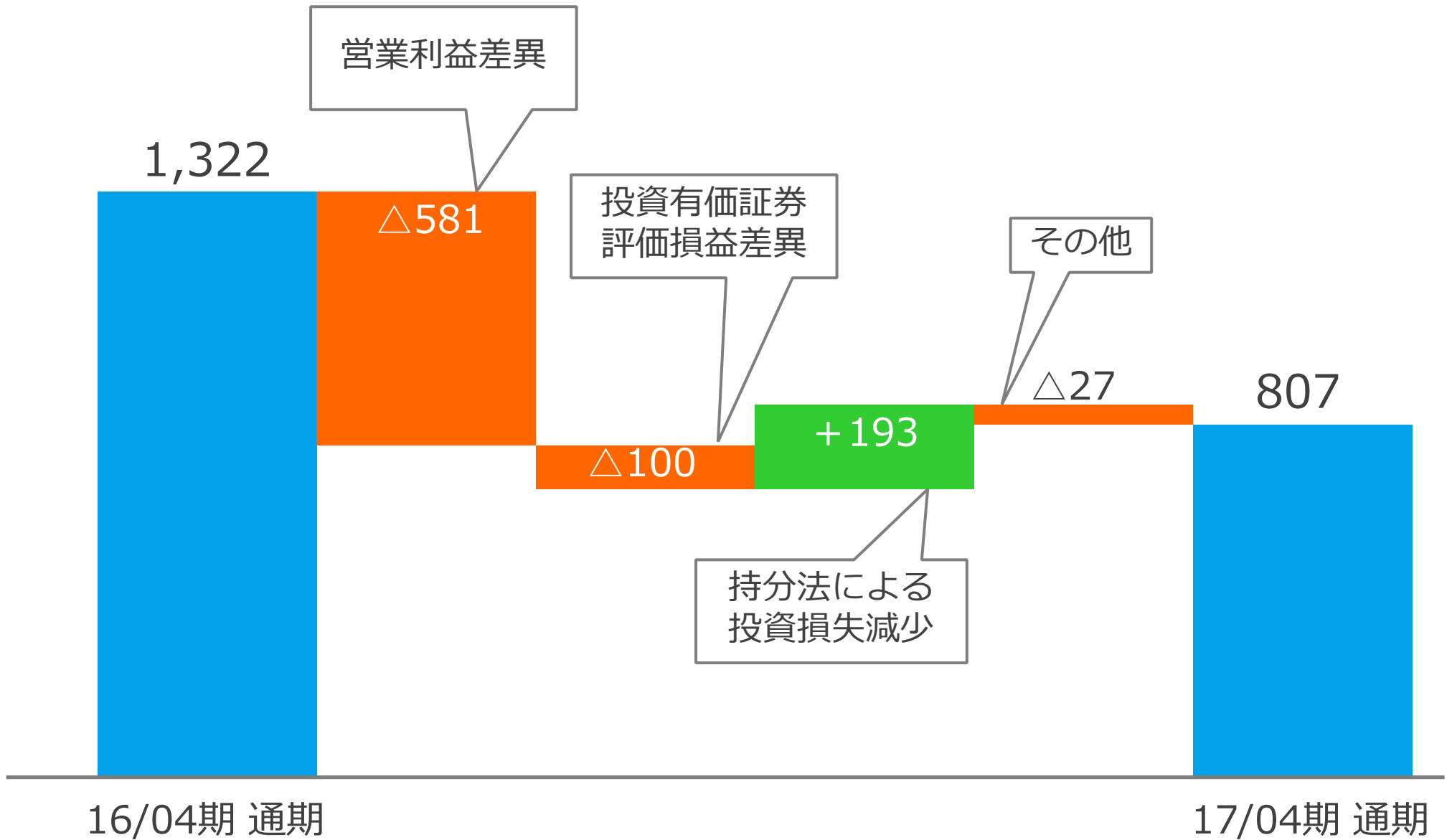
() 売上高における販売管理費の割合



フリービットEPARKヘルスケア連結子会社化により増
今後の事業拡大及び売上増を見据えた体制整備の実施により人件費増加

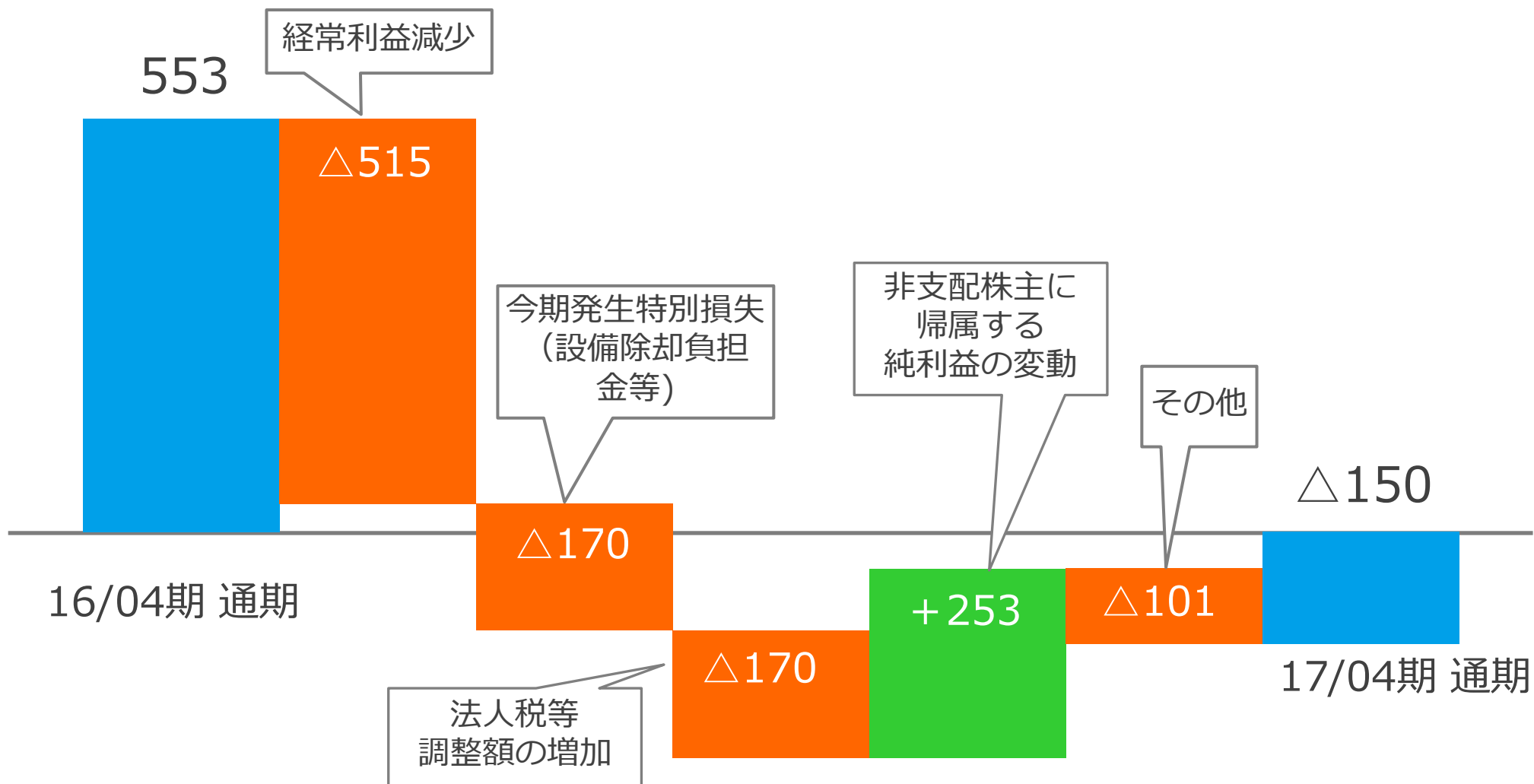
前期比差異分析-経常利益

(単位:百万円)



前期比差異分析 親会社株主に帰属する当期純利益

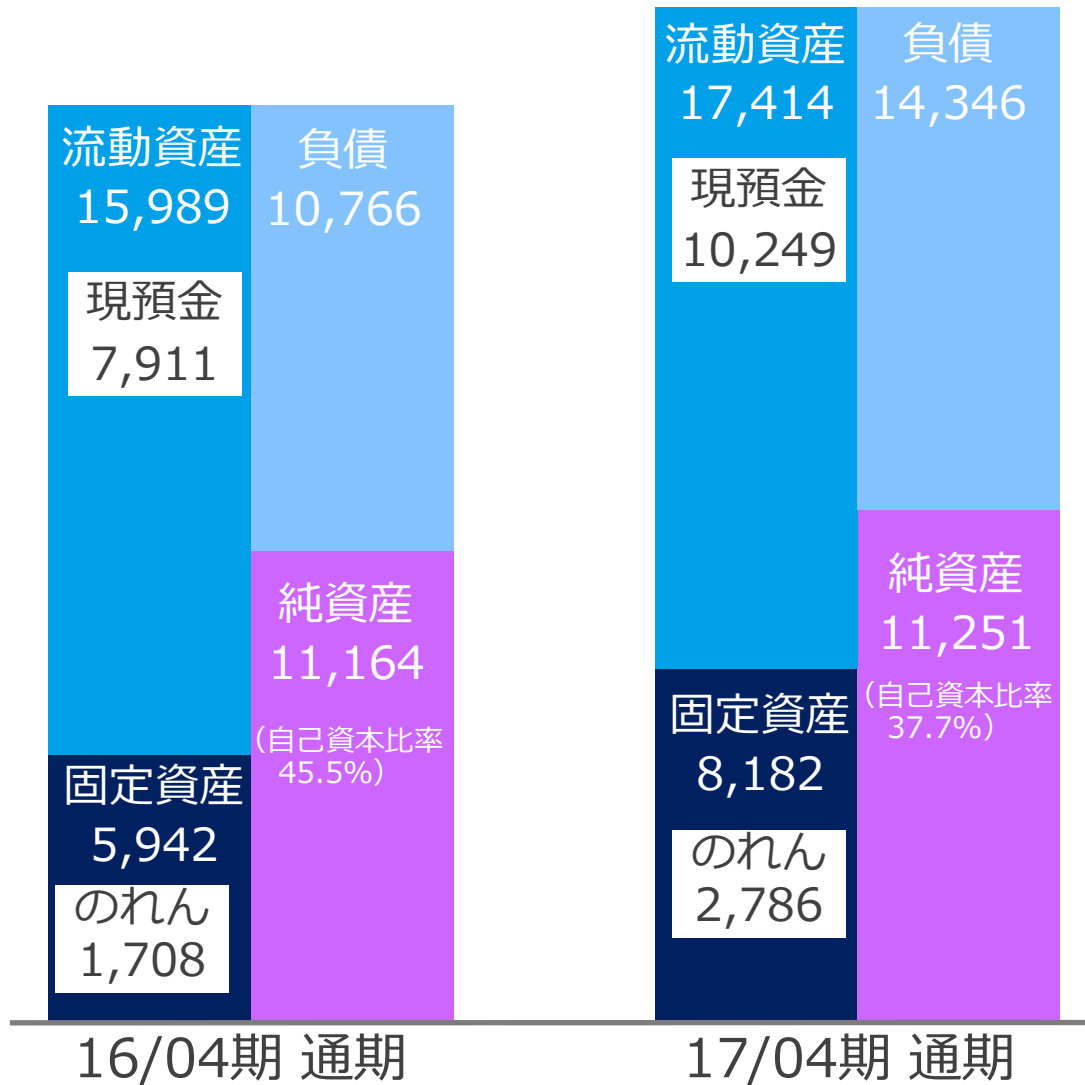
(単位:百万円)



2017年4月期
通期業績サマリ BS(抜粋)

連結業績サマリBS推移

(単位:百万円)



現預金 : 29.6%増

のれん : 63.1%増

純資産 : 0.8%増

フリービットEPARKヘルスケア及びフォーメンバーズの
連結子会社化により、のれんが対前期比で63.1%増

本日のアジェンダ

1. 2017年4月期 通期連結業績

2. 2017年4月期 通期セグメント別業績及び
事業進捗

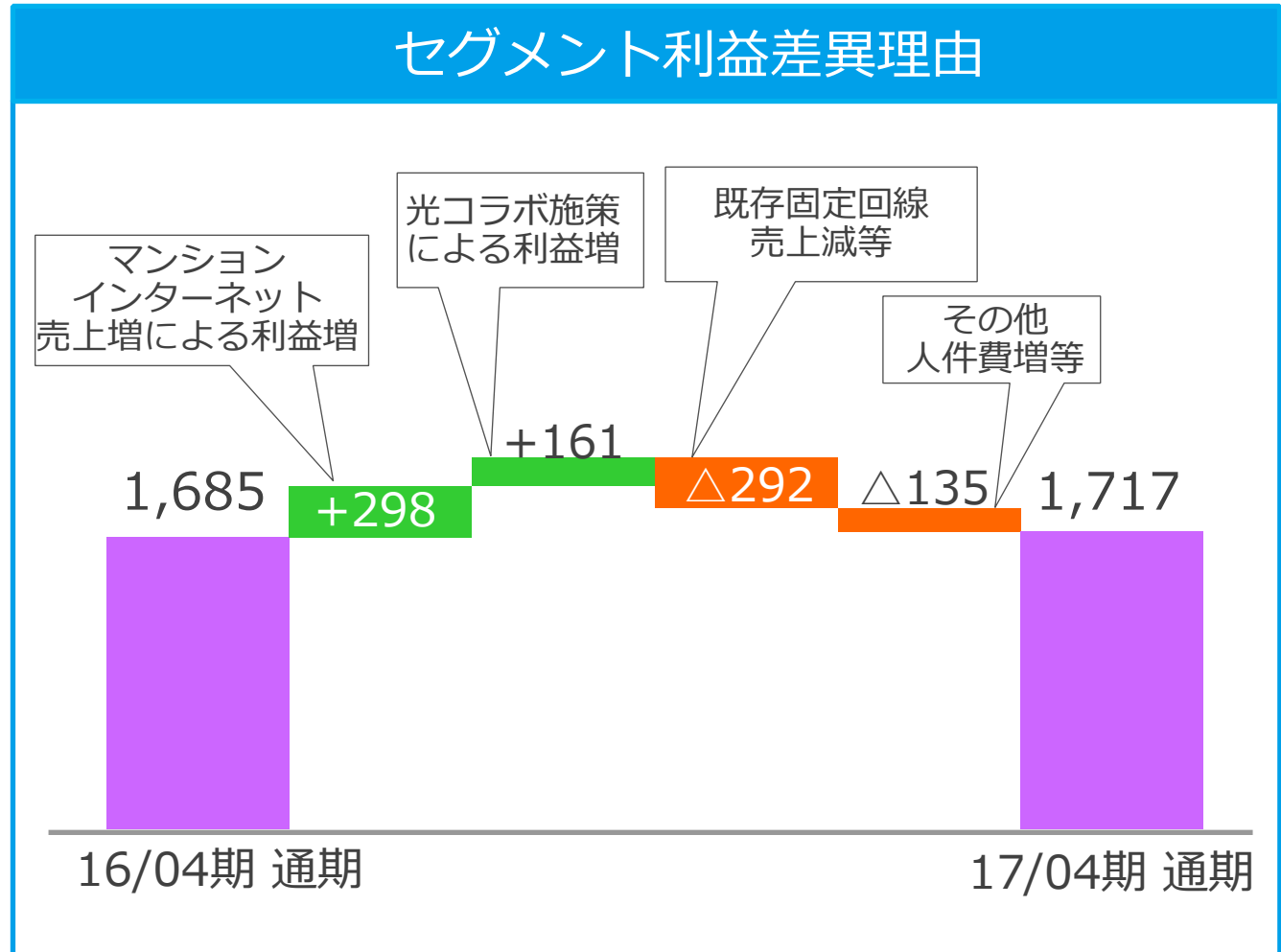
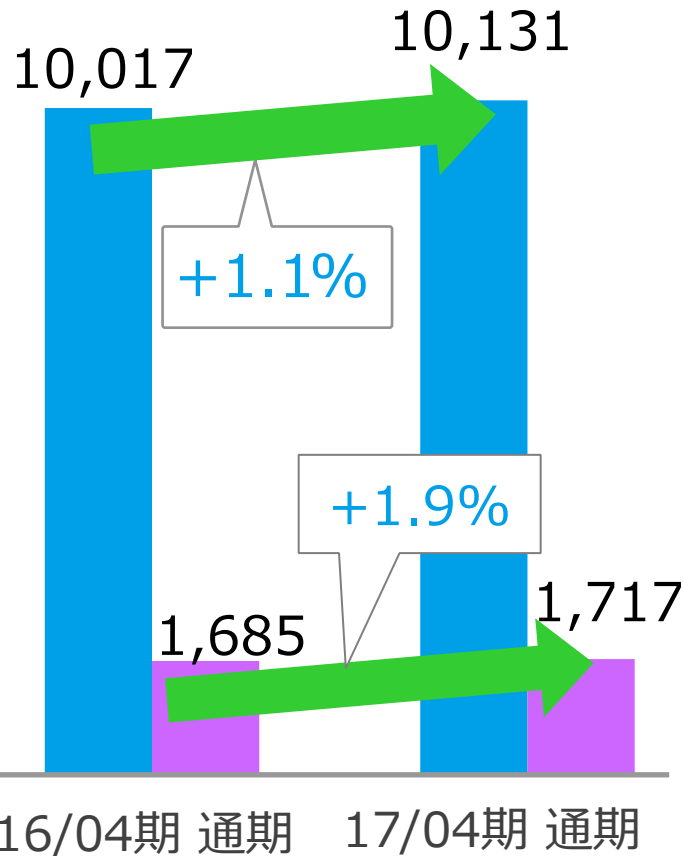
3. 2018年4月期 業績予想

ブロードバンド事業 前期比

■ 売上高

■ セグメント利益

(単位:百万円)

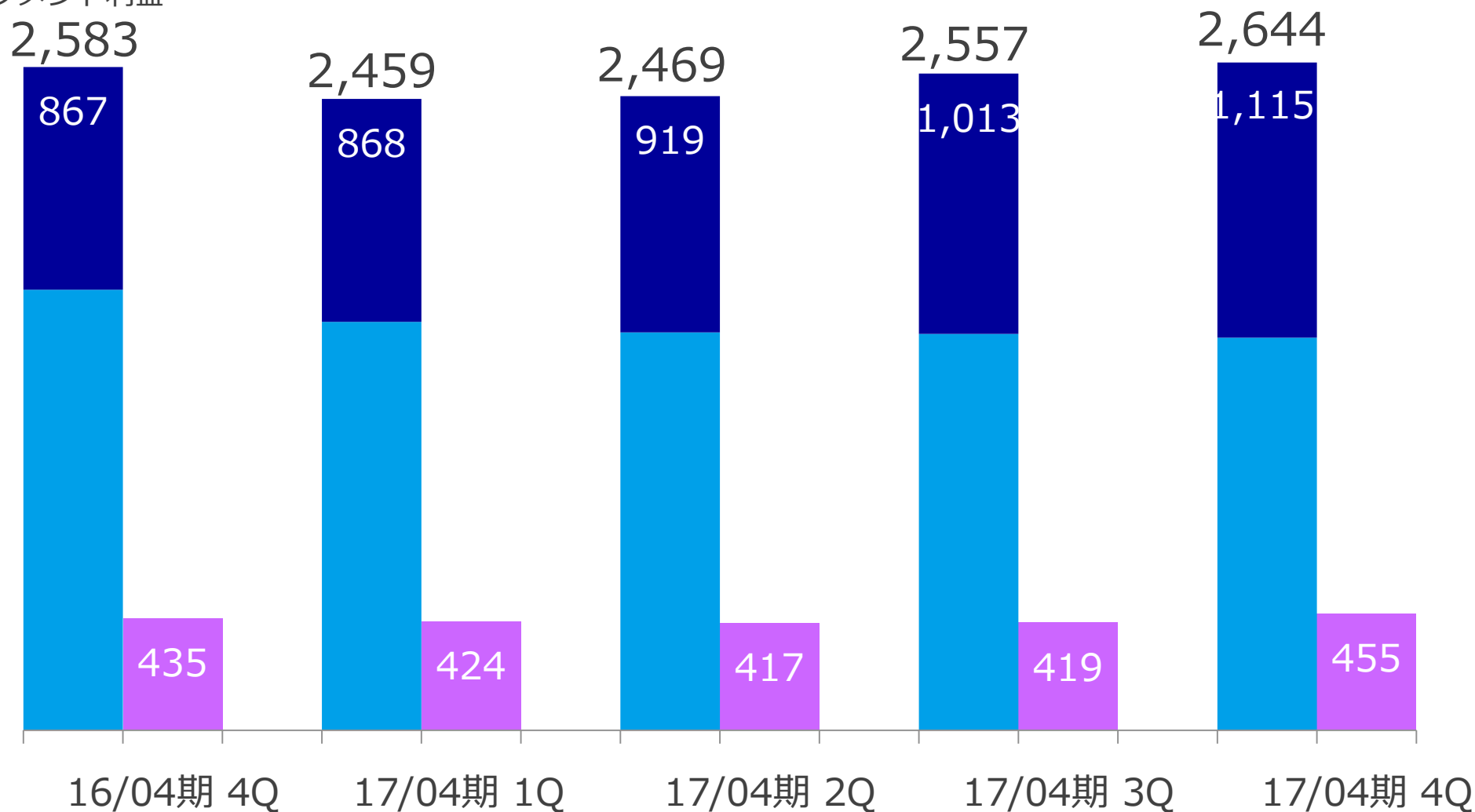


マンションインターネット及び光コラボ施策は堅調に推移し増収増益

ブロードバンド事業 売上高/セグメント利益の推移

- 売上高 (マンション)
- 売上高 (それ以外)
- セグメント利益

(単位:百万円)



マンションインターネットや光コラボの順調な推移により売上高、利益とも伸長

マンションインターネット

3/29発表 MDI社と包括契約を締結

初年度5千世帯への導入を目指し、集合住宅向けISPサービスを提供

— 土地の人生を考える。 —



5/10発表 Live Smart社と 業務提携契約を締結

日本初となる集合住宅向けIoTプラットフォームサービスの提供を目的とした、業務提携契約を締結



マンションインターネット導入実績

(単位：戸数)

ビジネスモデルの転換
～賃貸住宅市場に参入

超大手ハウスメーカーと協業開始

2018年3月期
通期予想

 **Rent Agent**
賃貸マンション向け
インターネット接続
サービス開始

25.4万

通期予想
+6.3万戸

19.1万

14.2万

10.1万

6.1万

4.0万

3.3万

2.8万

2.7万

2010年3月期

2011年3月期

2012年3月期

2013年3月期

2014年3月期

2015年3月期

2016年3月期

2017年3月期

2018年3月期

実績

実績

実績

実績

実績

実績

実績

実績

予想

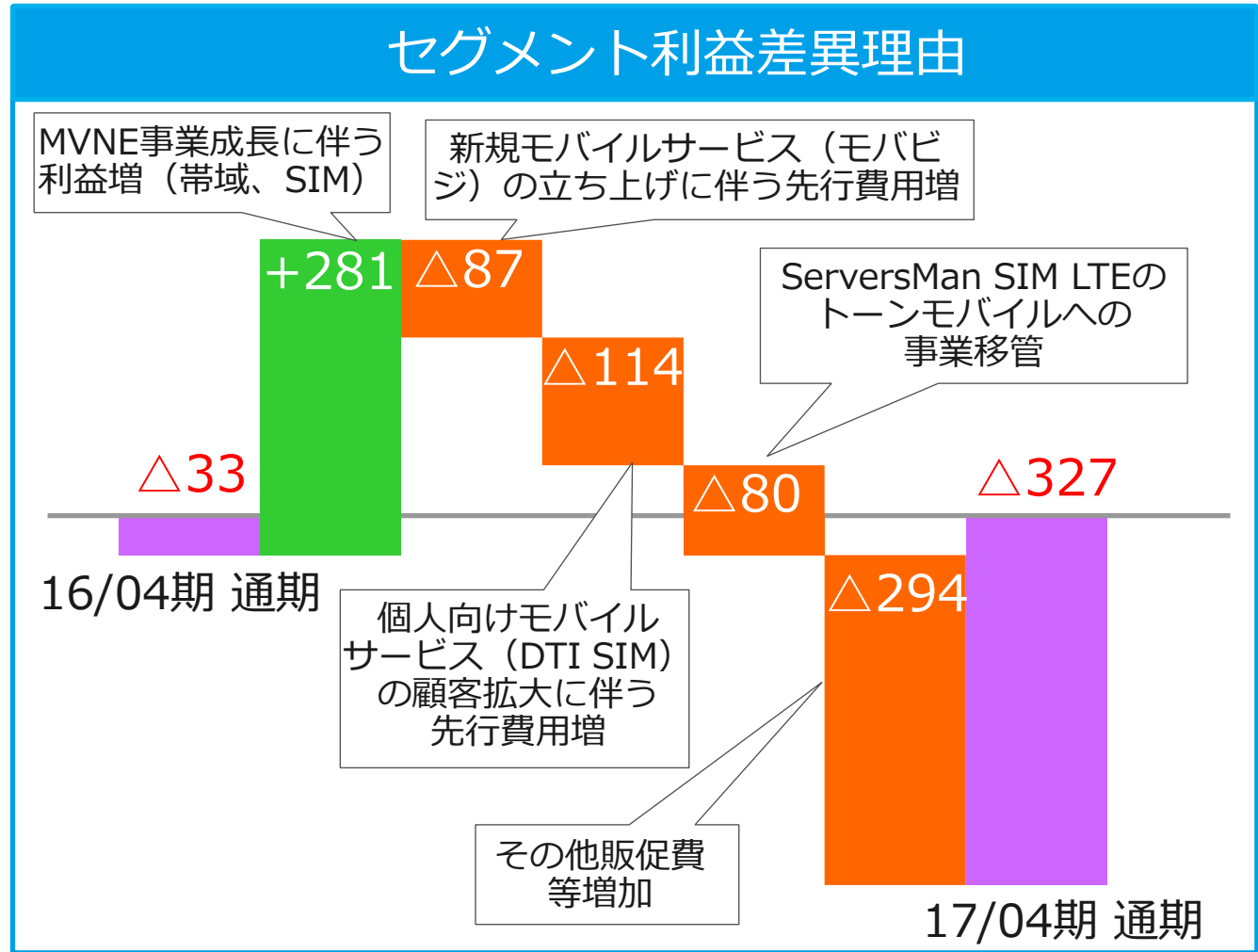
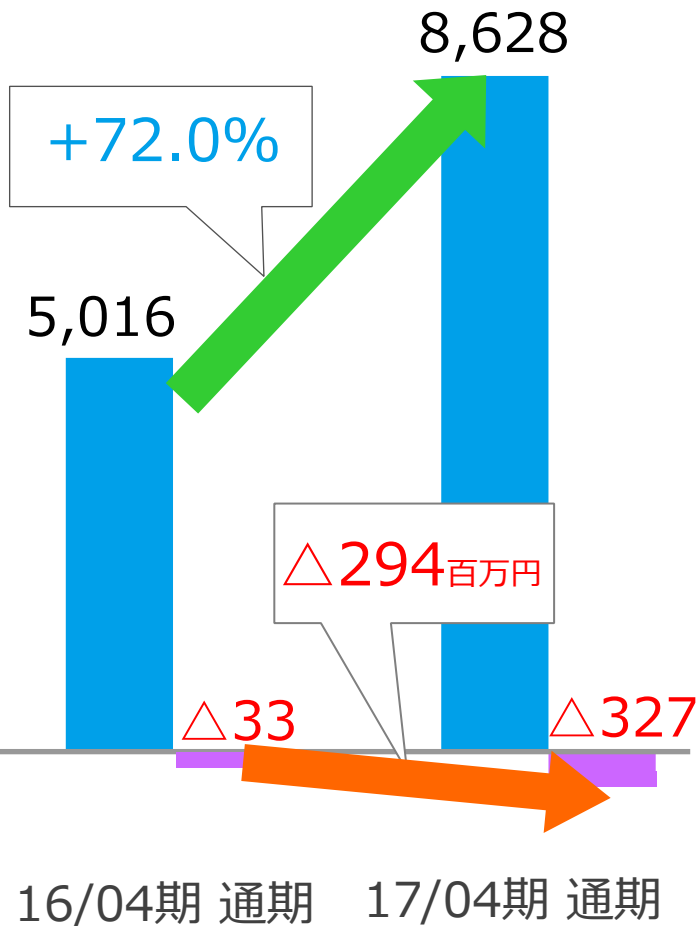
サービス戸数は、超大手ハウスメーカー複数社との協業開始により、
2017年3月期通期実績 19.1万戸を達成。2018年3月期は累計25.4万戸と予想

モバイル事業 前期比

(単位:百万円)

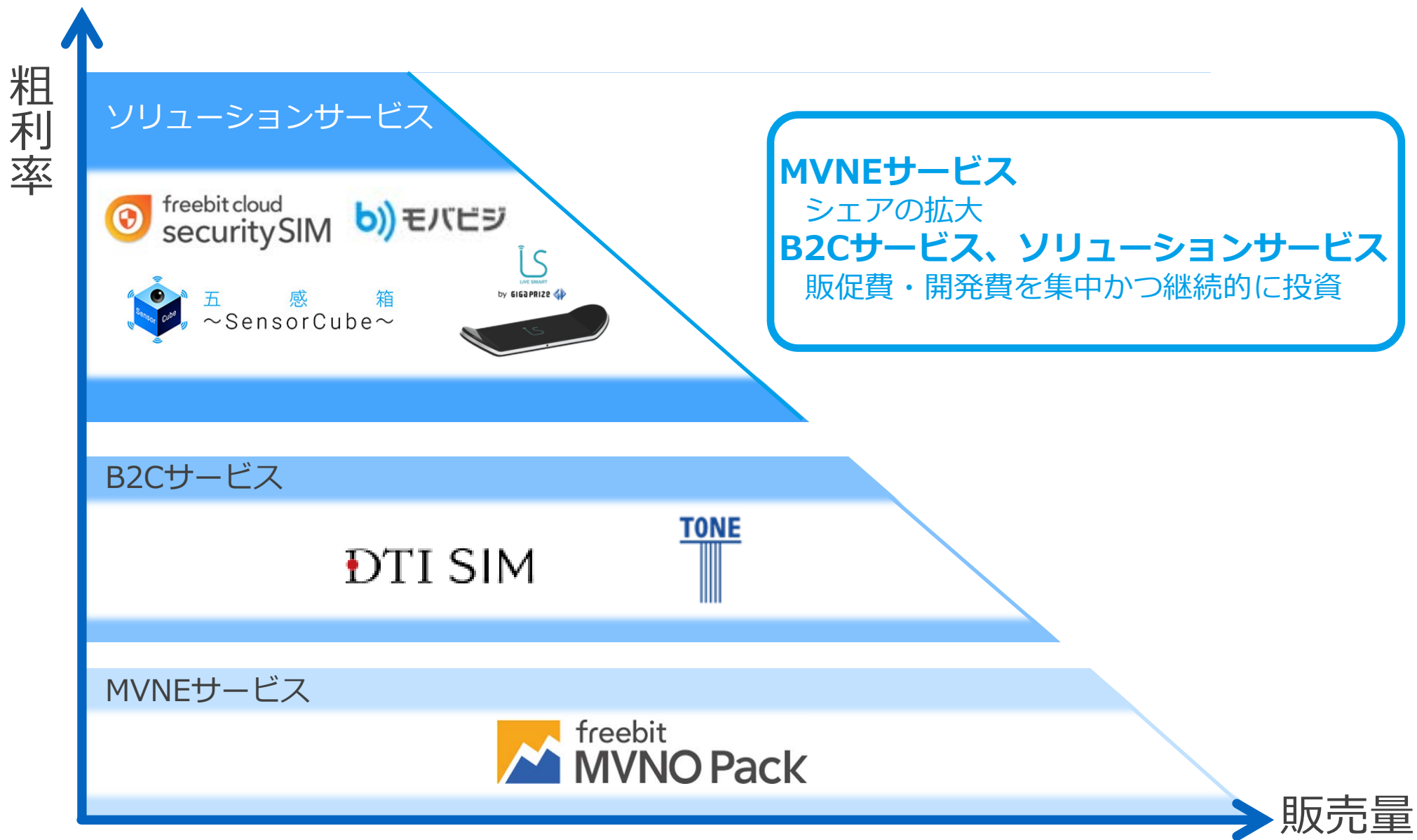
■ 売上高

■ セグメント利益



freebit MVNO PackによりMVNE事業は大きく増収
 新サービスの開発と会員シェア拡大のための販売促進・帯域確保により減益

モバイル事業進捗



粗利率の高いビジネスモデルを拡大することで、収益構造の改善を目指す

モバイル事業進捗

B2C事業

3/24発表

「DTI SIM」電話番号そのままスムーズに乗り換えできる『いますぐMNP転入』機能に業界初対応

DTI SIM

5/26発表

YouTubeとTwitterのデータ通信量がカウントされない新プラン「DTI見放題 SIM」を発表

DTI見放題 SIM

B2B事業

4/27発表

IoT事業の拡大に向け、旭鉄工グループのi Smart Technologies株式会社と戦略的業務提携を締結

5/22発表

LoRa Alliance™ への加盟及び LoRaWAN™を活用したIoTサービスの事業化に向けた実証実験「LoRaWAN™検証パッケージ」を発表

5/16発表

伊藤忠テクノソリューションズグループのシーティエーシー・エスピー株式会社と協業を開始

freebit cloud security SIM

6/5発表

働き方改革を推進するパッケージサービス「YourNet New Work Style」発表

トーンモバイルの進捗

2/21発表

TONE×VERY
VERY今尾編集長と
子どものファーストス
マホのためのスマホの
共同開発を発表

3/16発表

「TONE」の家族向け
見守りサービス
「TONEファミリー」、
スマートフォンサービ
スとして初めて東京都
を含む関東の九都県市
の推奨機能に認定

5/26発表

シニア世代向け機能
アップデート及び
新キャンペーン
スタート



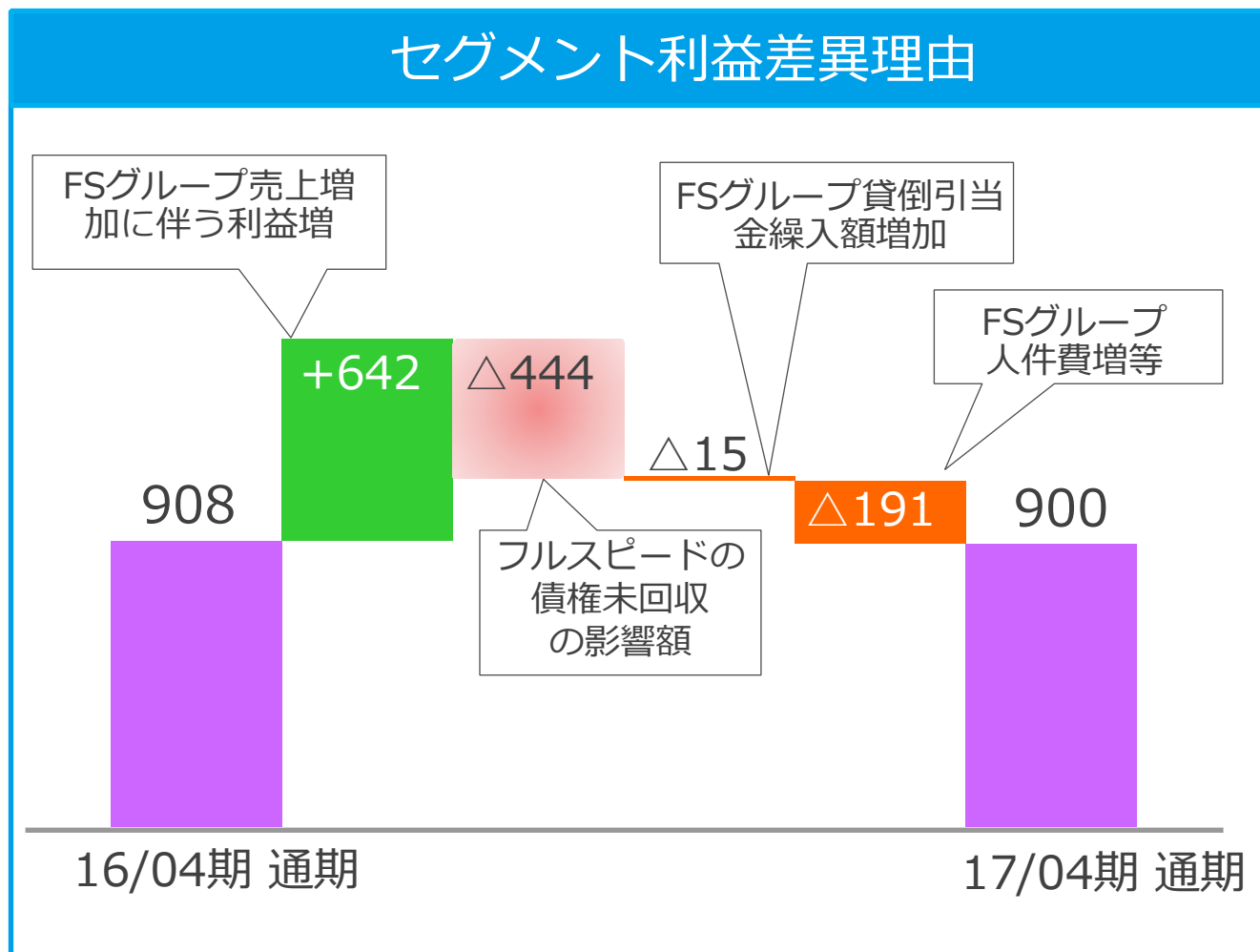
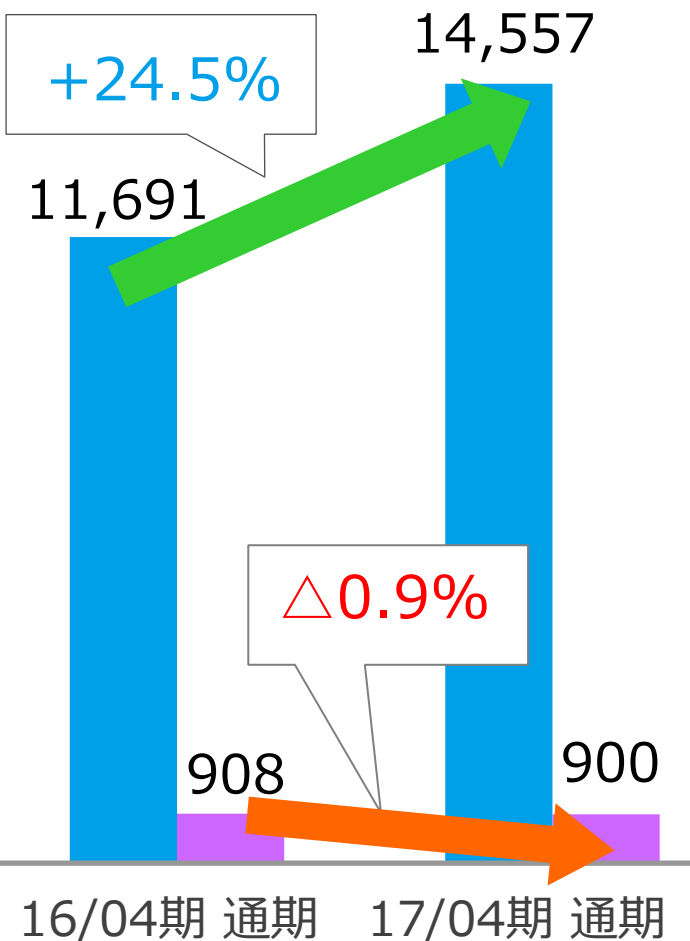
“買ってからも進化するスマホ”トーンモバイル
 子供世代～シニア世代まで、幅広いニーズに対応する機能を拡充

アドテクノロジー事業 前期比

(単位:百万円)

■ 売上高

■ セグメント利益



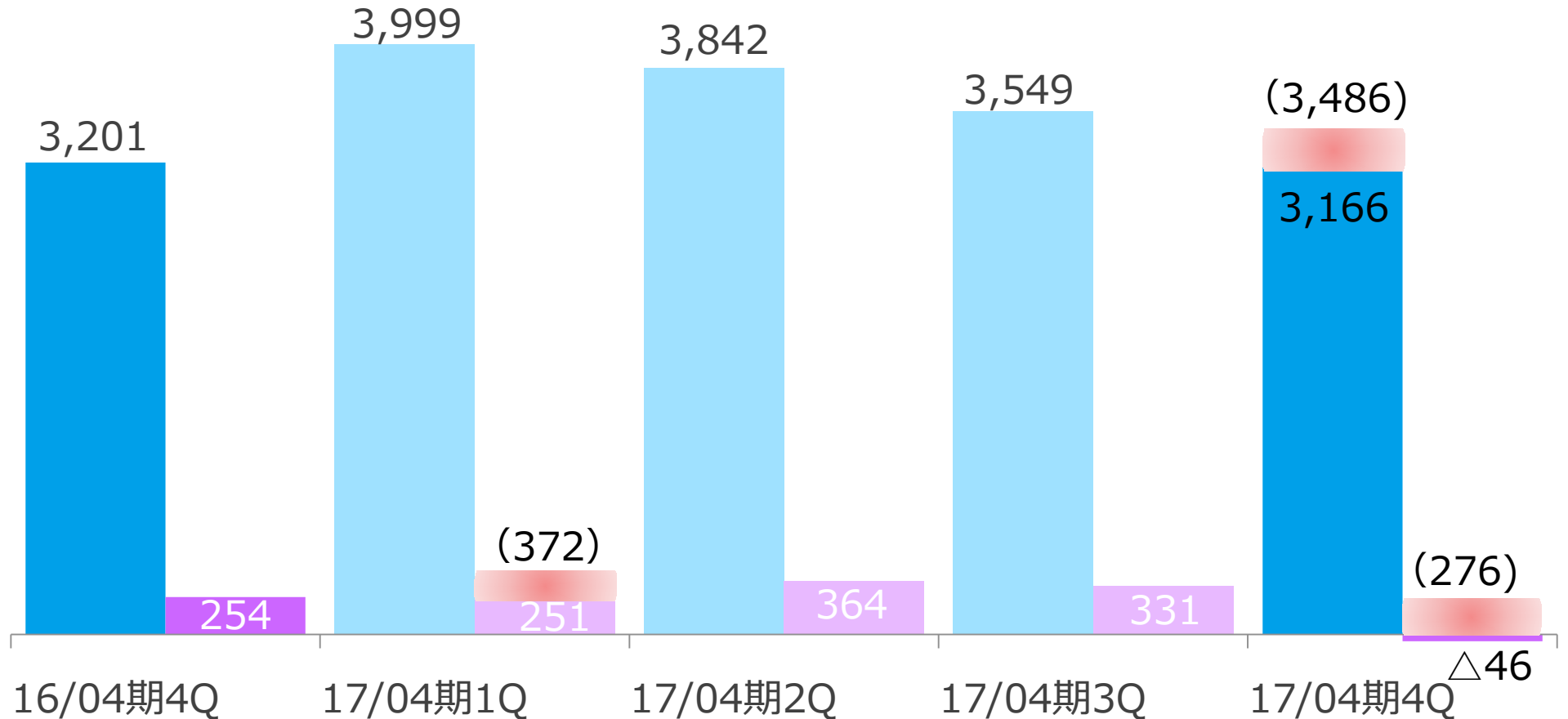
アドテクノロジーサービスの売上拡大に伴いセグメント全体の収益力が継続的に向上

アドテクノロジー事業 売上高/セグメント利益推移

- 売上高
- セグメント利益
- フルスピードの債権未回収の影響額

(単位:百万円)

() 内は上記の影響額を除いた数値

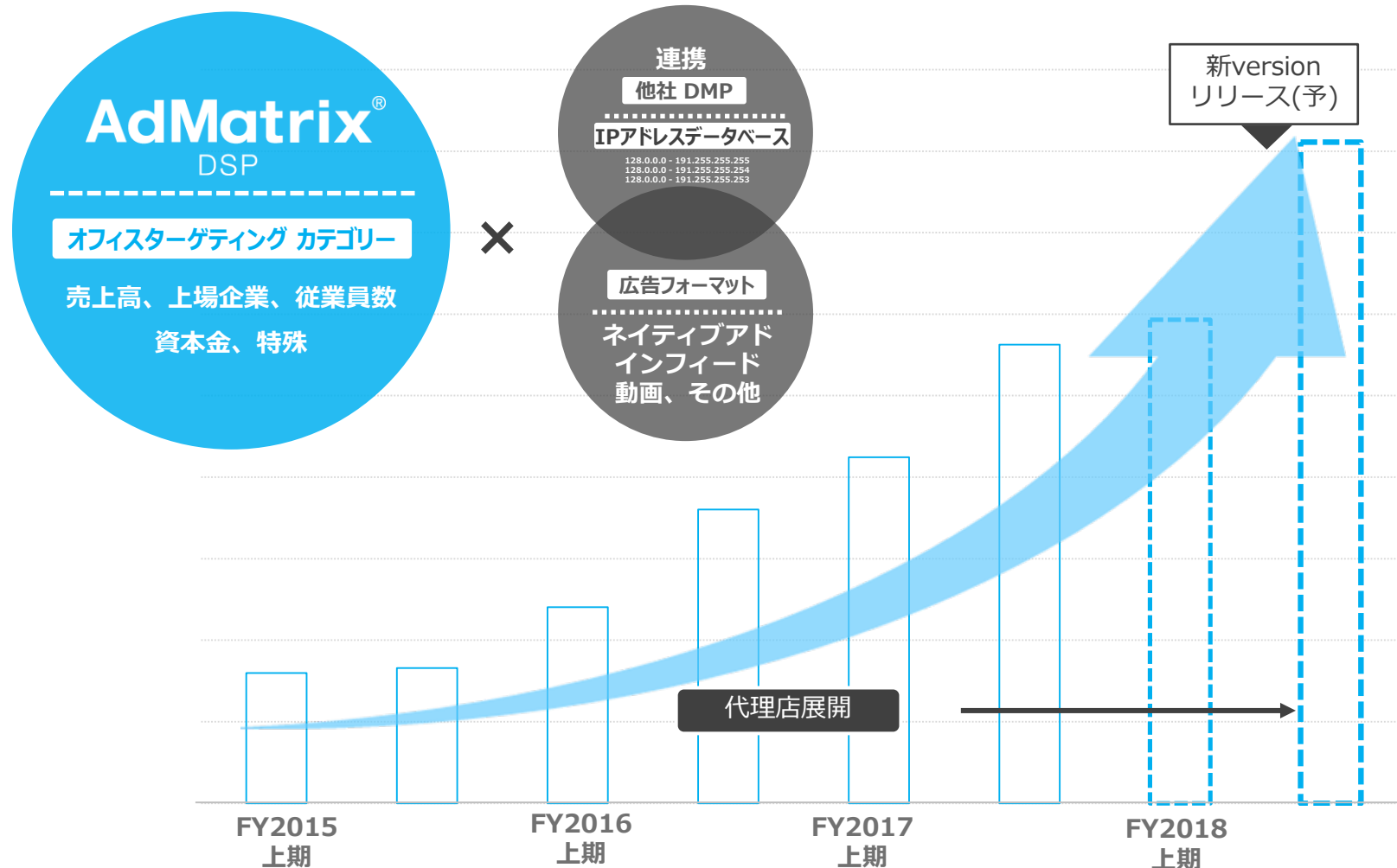


フルスピード債権未回収の影響により一時的に減益

ビジネス向けNo.1広告配信プラットフォーム「Admatrix DSP」

業界最大級のデータ保有 × 独自ターゲティング技術 で他社差別化を実現

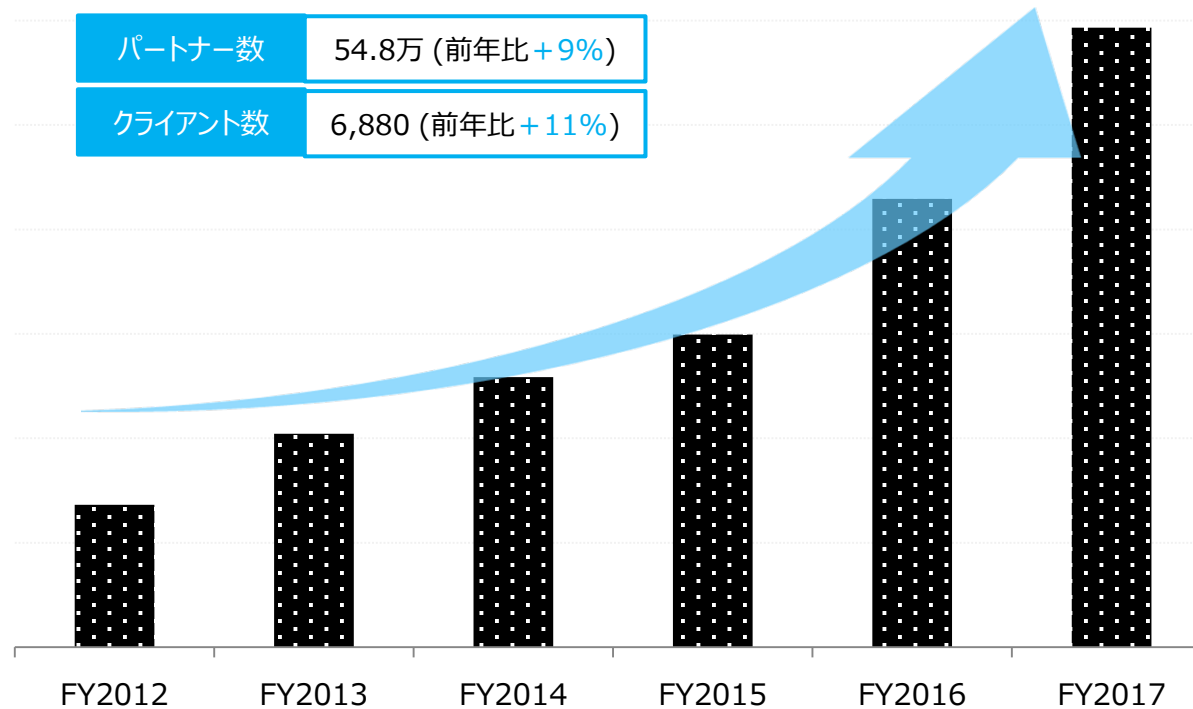
売上高推移(半期)



アフィリエイト・プラットフォーム「afb」の事業拡大を維持

サービス名称をリニューアル：クライアント様/パートナー様からの支持率No.1を目指す

売上高推移



来期以降取組み

テクノロジー

×

注カジャンル

×

中国展開



インターネット広告業界の健全化取組みに積極参加

- ◆ 「インターネット広告健全化プロジェクト」の発足
- ◆ メディアパートナーの健全性確保支援のため、コンテンツ審査代行サービスを提供開始

検討会発足

関連法令に関する情報収集・意見交換会を実施し、チェック・監視機能の強化を目的



審査サービス

イーガーディアン社との事業提携を通じて、メディアパートナーへの多角的な事業支援を強化



イーガーディアン社
アドウェイズ社
インタースペース社
バリューコマース社

ファンコミュニケーションズ社
フォーイット社
リンクシェア・ジャパン社、
レントラックス社

afb × E-Guardian

株式会社カームボールドを設立 _平成29年5月



ブランディングPRに特化したスマホ向け動画アドネットワーク事業を分社化
機動的に有力他社との戦略提携および機動力促進を狙う

市場環境

ポジショニング

盛り上がる動画広告市場において、
閲覧ユーザーのセグメントが明確化され、ブランディング広告に最適なメディアと言われる“プレミアム
メディア”を業界最大級にネットワーク化。TV広告予算のインターネットへの急速シフト展開に対応。

Premium
メディア

一般メディア

ソーシャル
メディア

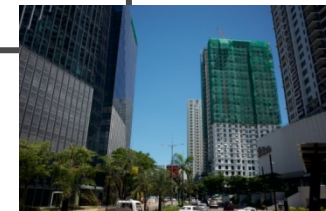


今期発足の**技術戦略本部**と**FULLSPEED TECHNOLOGIES**と連携し **FullSpeedグループの全社技術戦略を推進**

～既存テクノロジー商材および、FY2021以降の新たな収益創造のための取組み～



日本においては、2020年末にはIT人材が30万人以上不足するという調査結果※が出ているように、今後ますますIT人材の需要が高まる一方、不足規模は増えると予測されています。
※参照：経済産業省 27年度調査研究レポート「IT人材の最新動向と将来推計に関する調査結果について」

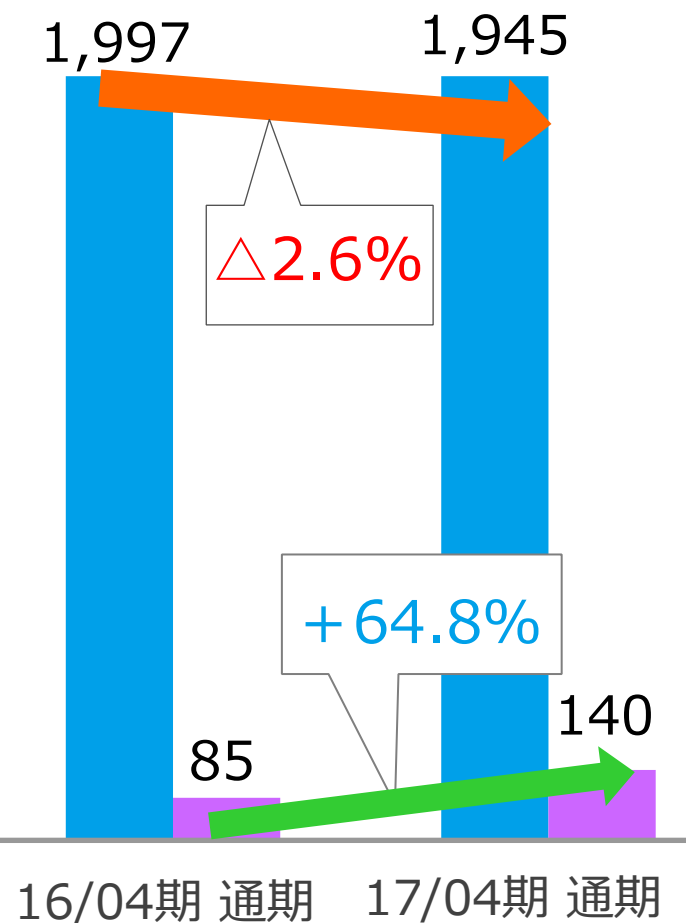


クラウド事業 前期比

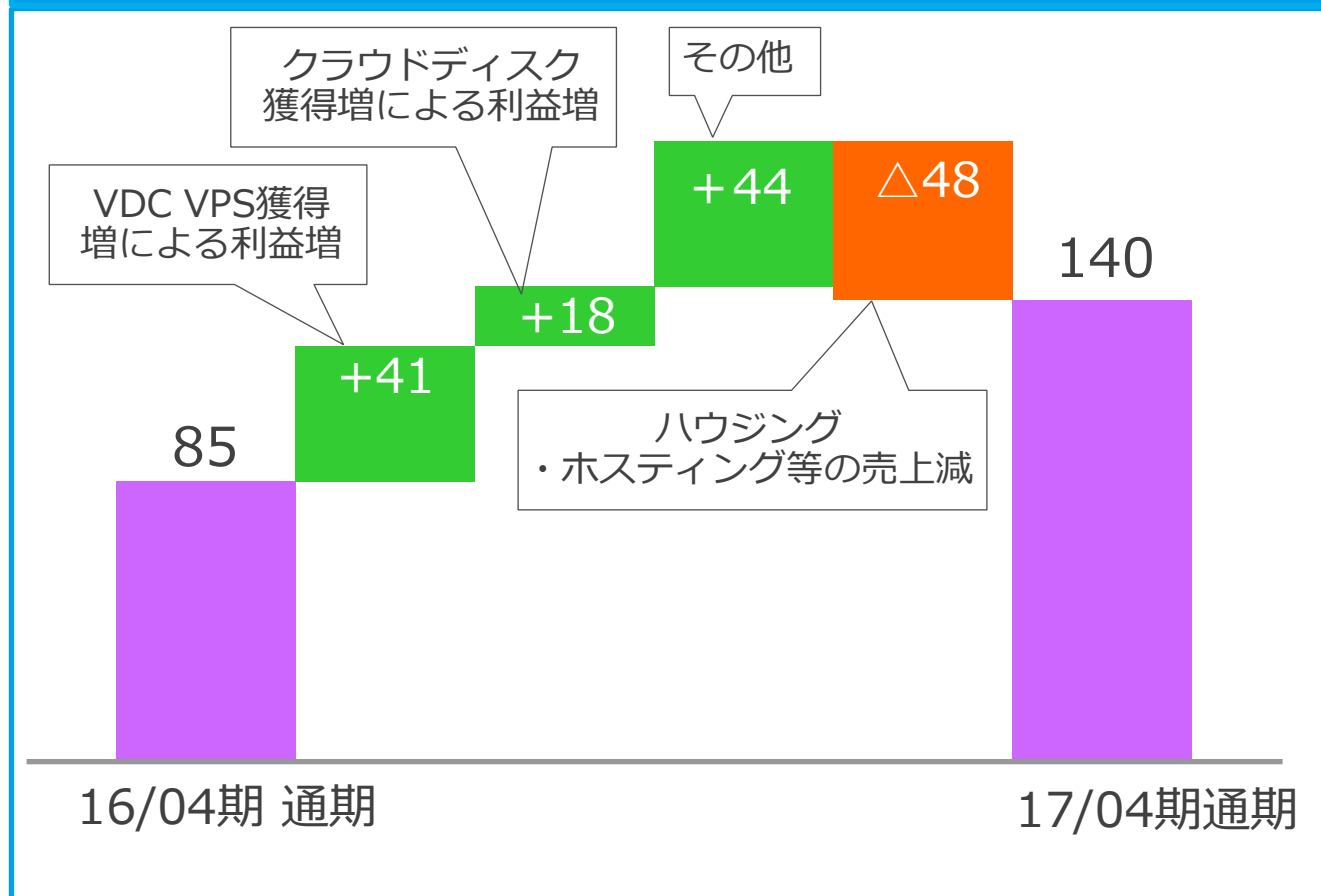
(単位:百万円)

■ 売上高

■ セグメント利益



セグメント利益差異理由



ハイブリッドクラウド商材の販売拡大により増益を達成

クラウド事業進捗

4/18発表

個人利用から法人利用まで幅広い用途に対応する法人向けクラウド型見守りサービス「五感箱～SensorCube～」を発表



五感箱
～SensorCube～

5/8発表

業界最高クラスのコンピューティングリソース（計算資源）を駆使したIaaS型パブリッククラウドサービス「ClearBox Cloud」を発表



ClearBox Cloud

5/30発表

クラウド型スパコンサービス「freebit cloud HANABI (Virtual Super Computing)」を発表

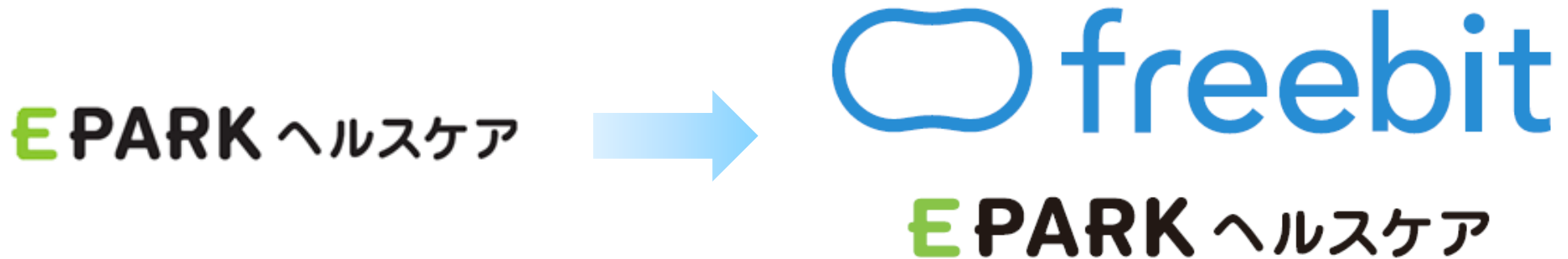


XTREME
DESIGN

マーケットニーズに基づき、サービスラインアップを強化
18/04期の売上増を図る

ヘルステック事業進捗

- 2/6 社名を変更し、株式会社フリービットEPARKヘルスケアへ



株式会社EPARKヘルスケア

株式会社フリービットEPARKヘルスケア

- 本社を渋谷に移転

6/13F フリービット

9F フリービットEPARKヘルスケア
フォーイット



8F フルスピード

7F ギガプライズ

2月6日に社名変更を行い、株式会社フリービットEPARKヘルスケアへ

ヘルステック事業進捗

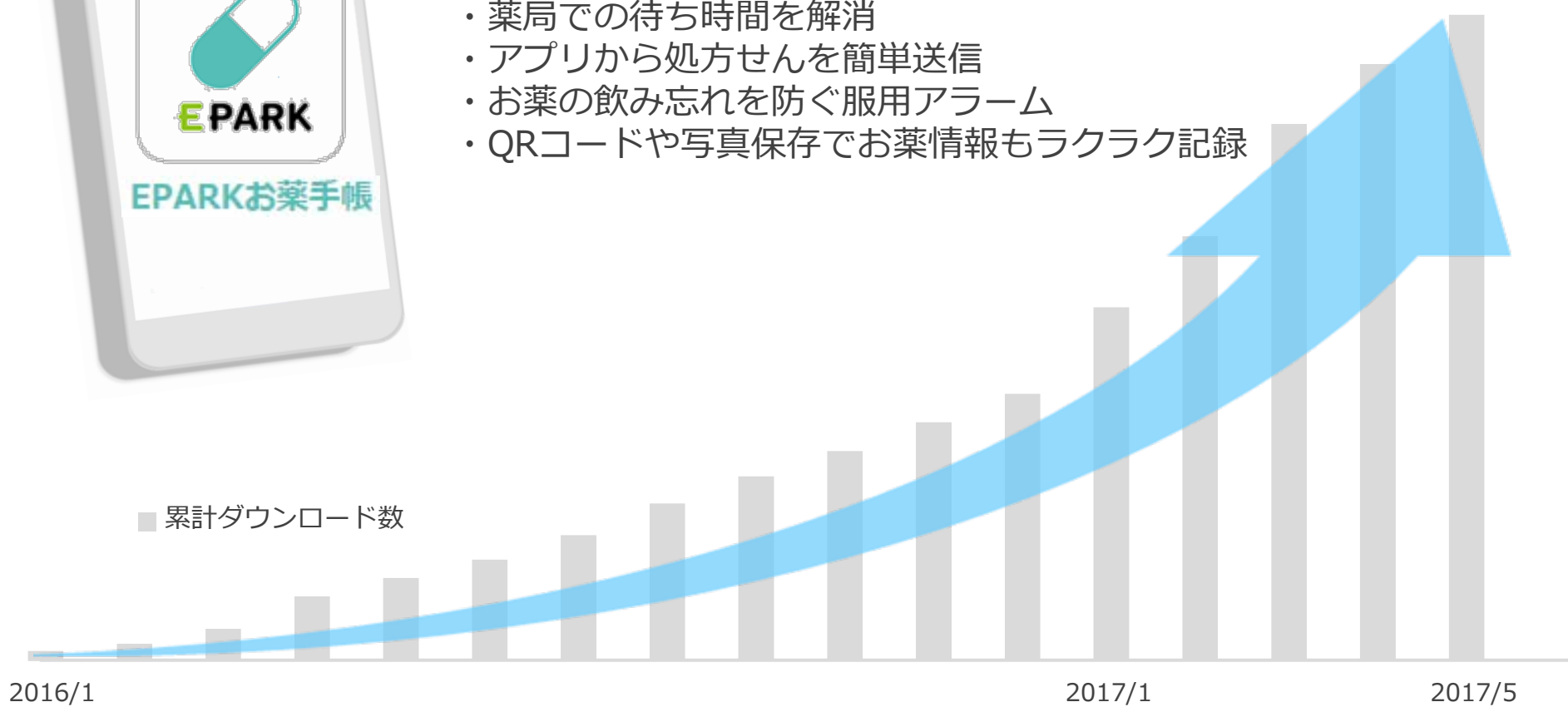
EPARKお薬手帳



薬局の受取予約・服用アラーム・お薬情報の登録など便利な機能がすべて無料で利用できるアプリ

- ・薬局での待ち時間を解消
- ・アプリから処方せんを簡単送信
- ・お薬の飲み忘れを防ぐ服用アラーム
- ・QRコードや写真保存でお薬情報もラクラク記録

11万超

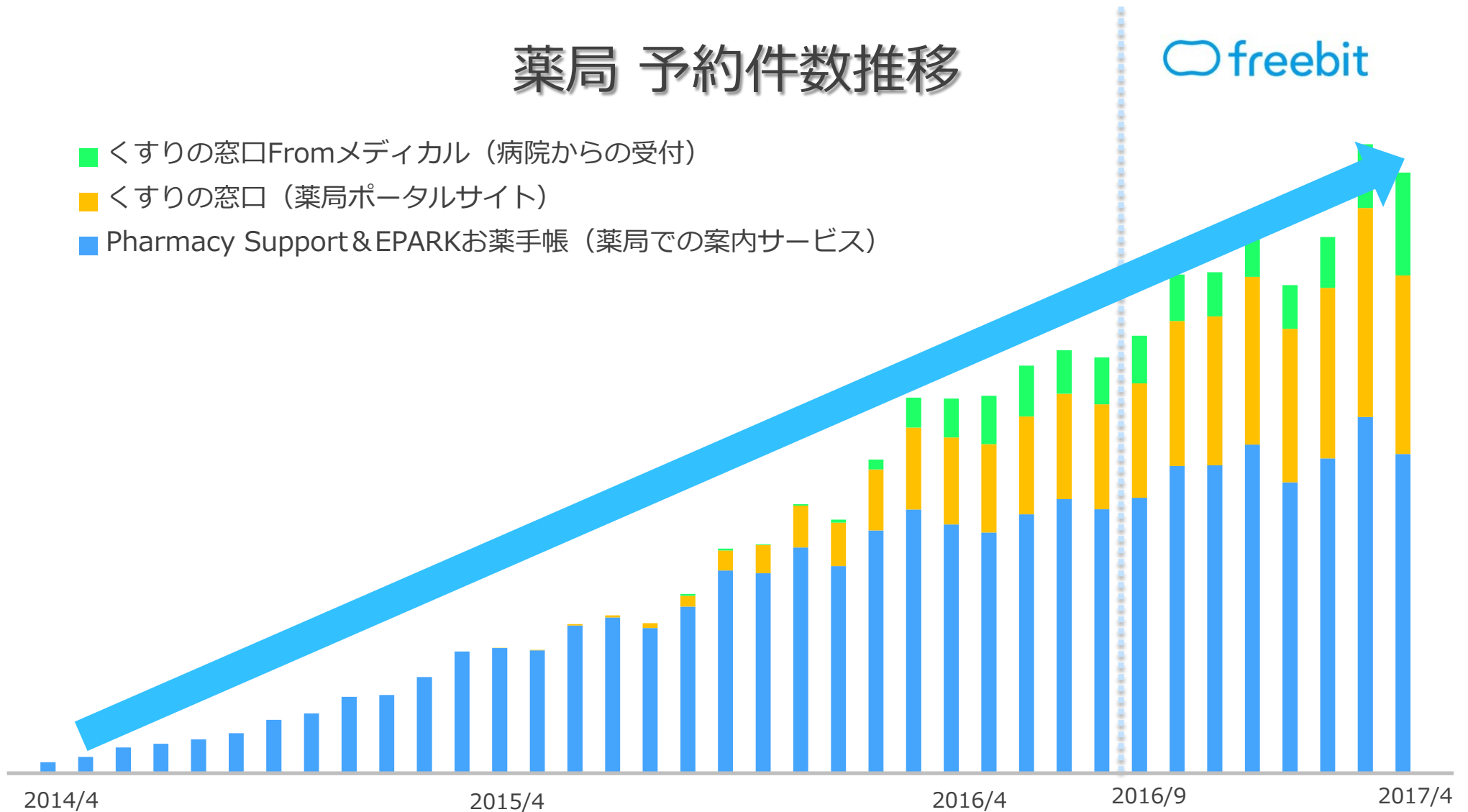


EPARKお薬手帳が累計ダウンロード数11万件を突破

ヘルステック事業進捗

薬局 予約件数推移

- くすりの窓口Fromメディカル（病院からの受付）
- くすりの窓口（薬局ポータルサイト）
- Pharmacy Support&EPARKお薬手帳（薬局での案内サービス）



月間予約件数は順調に推移

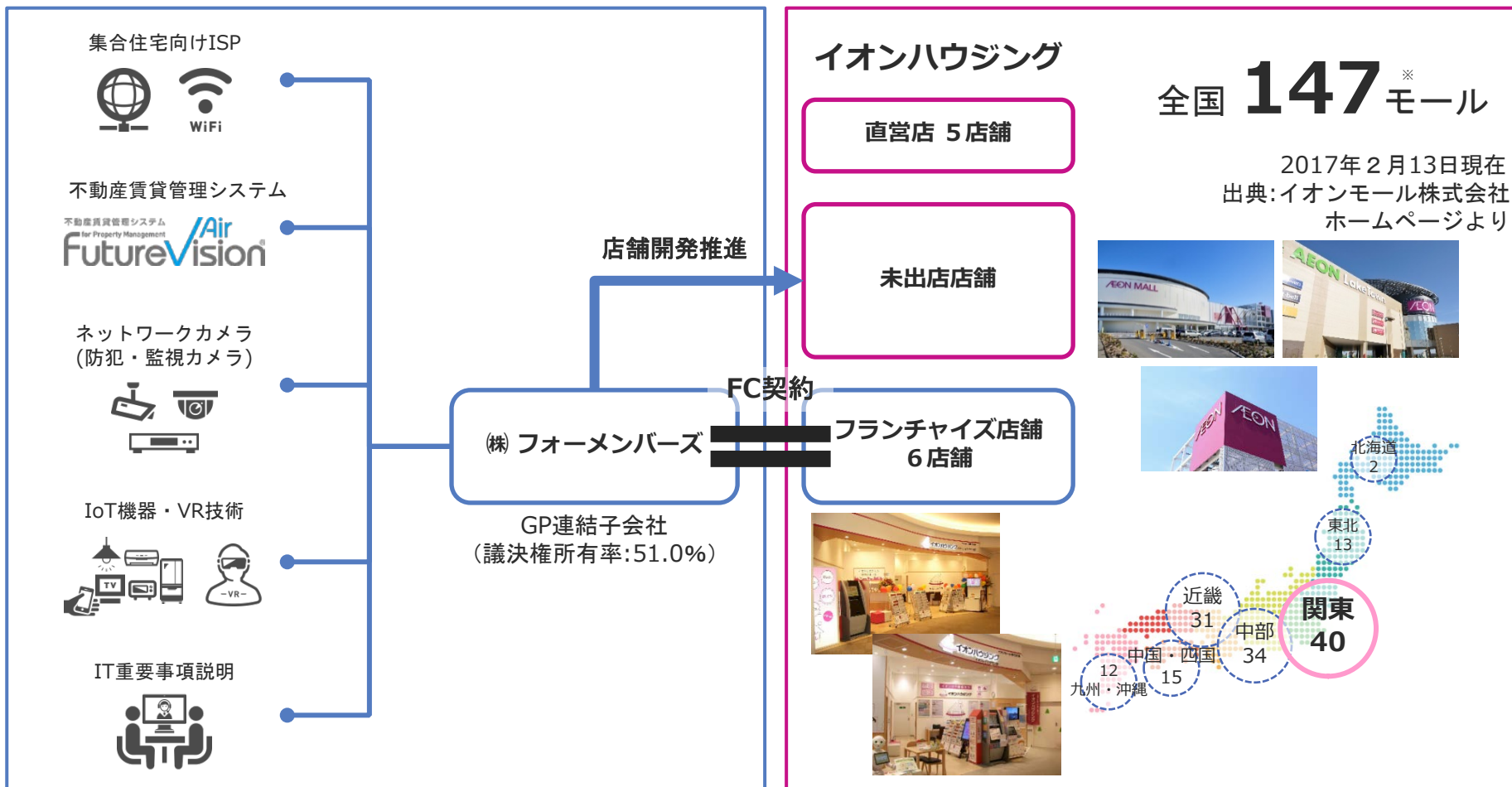
2017年4月期 通期セグメント別業績総括

	売上高 前期比	セグメント 利益 前期比	セグメント別業績総括
ブロードバンド	+1.1%	+1.9%	<ul style="list-style-type: none"> ・マンションインターネットサービスが順調に推移 ・DTIの光コラボ施策による獲得の結果、新規ユーザー増加
モバイル	+72.0%	△294 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・「freebit MVNO Pack」提供先のMVNO事業者によるユーザー獲得が順調に推移 ・スマホ端末による売上増加 ・個人向けSIMサービスや、用途向けサービスに積極的な販売促進・サービス開発を実施
アド テクノロジー	+24.5%	△0.9%	<p>FSグループによる継続的売上拡大が寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独自の広告運用総合プラットフォーム「AdMatrix」シリーズの拡販による獲得数増加 ・アフィリエイト広告やソーシャルメディア広告等のサービスも大きく伸長
クラウド	△2.6%	+64.8%	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウド商材の販売拡大による利益増 ・クラウド商材とセットでのネットワークセキュリティサービスの拡販を推進
ヘルステック	+254 百万円	△324 百万円	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの技術や事業リソースを活用することで事業拡大が見込める薬局向けソリューションサービスの提供を開始 ・お薬手帳アプリのダウンロード数が順調に推移

イオンモール株式会社が運営する不動産仲介事業『イオンハウジング』のフランチャイズとして不動産仲介事業を展開する株式会社フォーメンバーズを連結子会社化

株式会社ギガプライズ

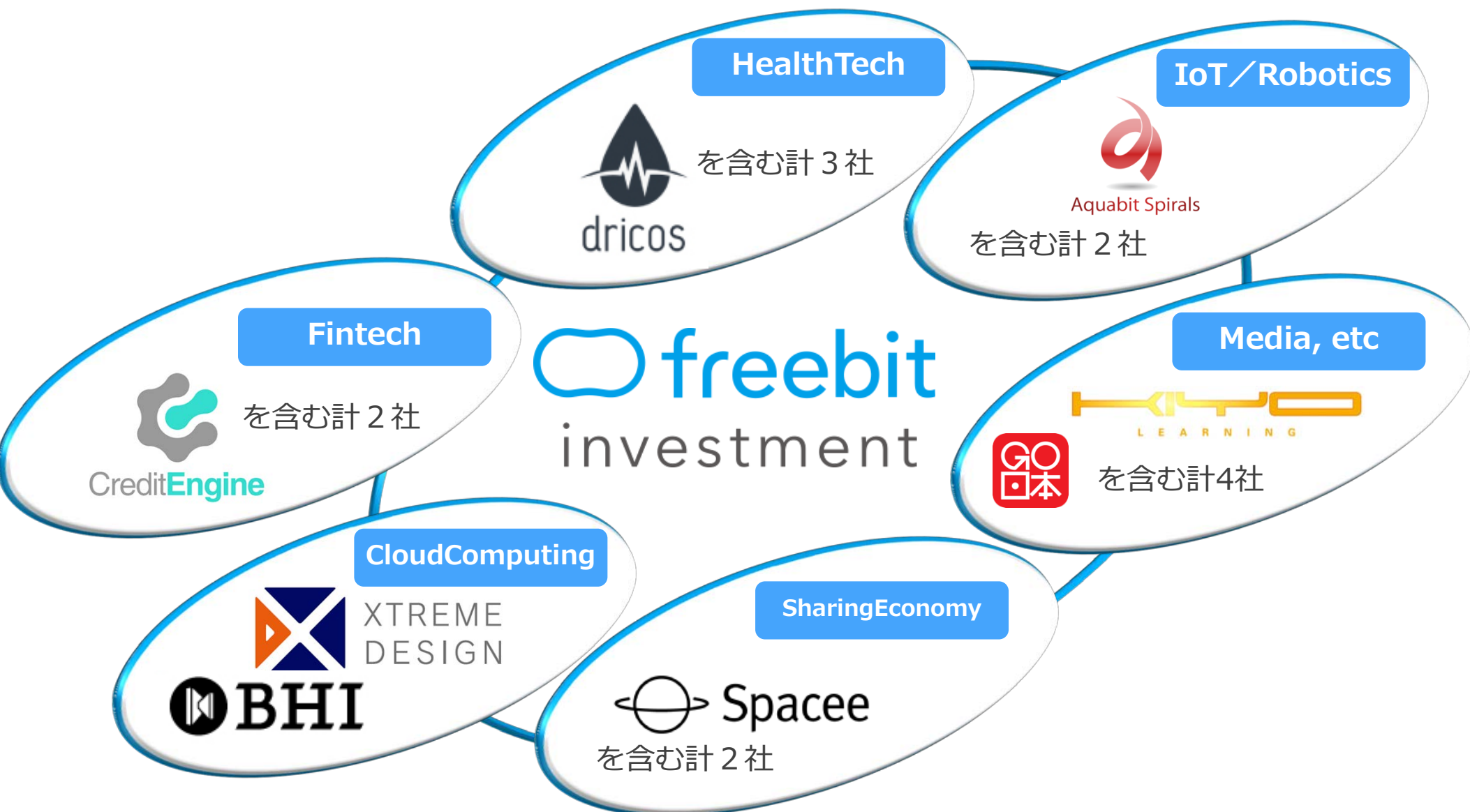
イオンモール株式会社



お客様

イオンハウジング事業の株式会社フォーメンバーズを軸とした不動産Tech領域への展開基盤を構築

フリービットインベストメント事業進捗



2016年3月より投資実行を開始し、現在までに15社に出資
出資以外にもグループ事業との協業を通じたインキュベーションを実施

本日のアジェンダ

1. 2017年4月期 通期連結業績
2. 2017年4月期 通期セグメント別業績及び
事業進捗
3. 2018年4月期 業績予想

企業理念

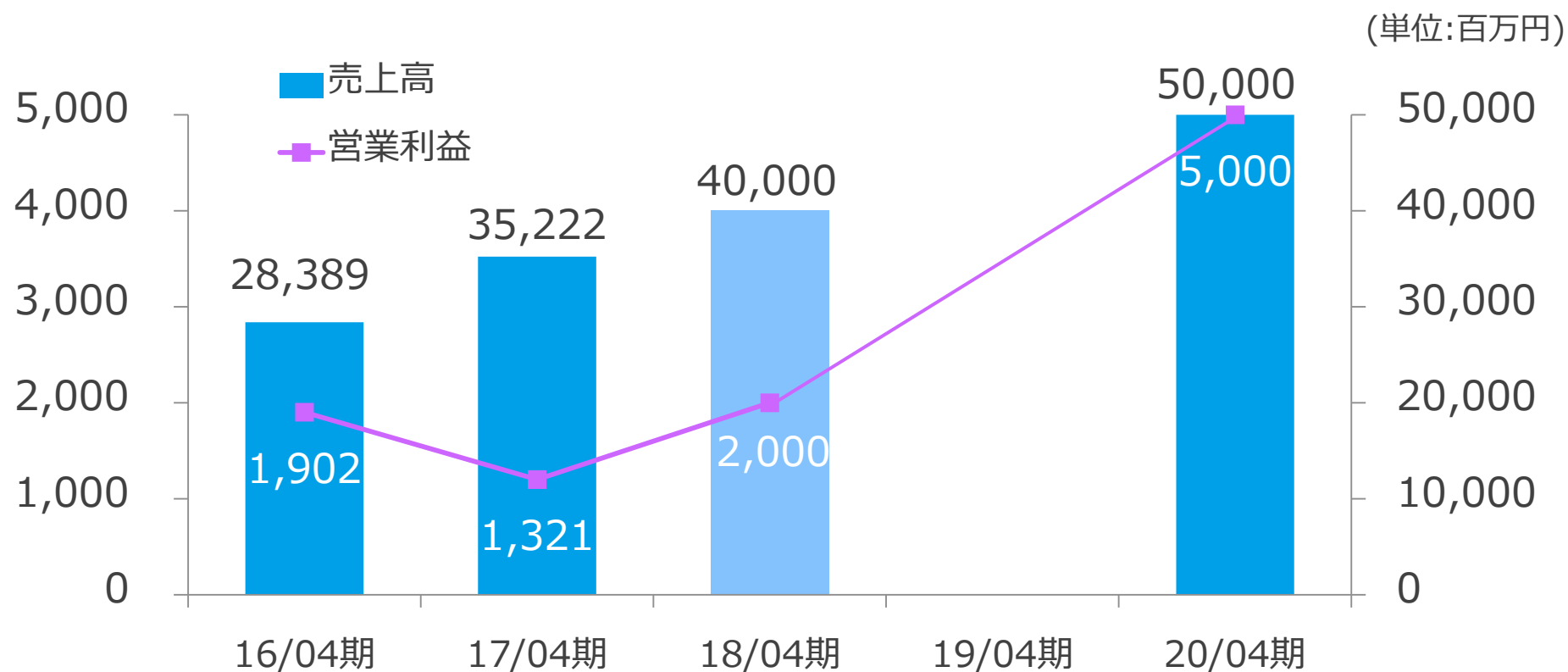
Being The NET Frontier!

インターネットをひろげ、社会に貢献する

中期事業方針 SiLK VISION 2020

フリービットグループ 2020年4月期業績目標

連結売上高**500億円**・連結営業利益**50億円**企業を目指す



グループ基本方針

成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展

既存の「モバイル」「アドテクノロジー」領域の成長に加え、
新規事業を有する「生活革命」に関連する「Health Tech」「IoT」
「不動産Tech」に注力した中長期の事業拡大



「ヘルスケア」関連の新規事業の立ち上げ/推進による収益化と監視
カメラや各種センサーにバンドルした新モバイル通信サービスの開始



規模拡大を目指した住環境関連事業の開始



動画、AI等に関連した最先端の広告技術に対応した商品開発と訪日
旅行者向けアプリ事業の開発



コンシューマ向けモバイルサービス「DTI SIM」の戦略的拡大



Health Tech、Fin Tech、不動産Tech、IoT、訪日インバウンドなど
テーマに即した事業への積極的投資

グループシナジーの最大化を図り、効率的かつより機動性の高い経営体制を構築し、
グループ経営体制を強化

グループ基本方針

成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展

モバイル

モバイル（個人向け）



モバイル（法人向け）



IoT



アドテクノロジー

アドテクノロジー



訪日インバウンド



生活革命

IoT

新サービス今夏開始予定



Health Tech

新規事業の立ち上げ



不動産Tech



既存のビジネス領域

既存 + 新規ビジネス領域

グループ基本方針

成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展

モバイル革命

生活革命

個人向け

法人向け

IoT

不動産Tech

HealthTech

DTI SIM

 freebit cloud security SIM

 モバビジ

 TONE



 YourNet SIM



 LS
LIVE SMART
by GIGA PRIZE



株式会社
フォーメンバース

 freebit
EPARK ヘルスケア

2018年4月期 当期業績予想

(単位:百万円)

	2017年4月期	2018年4月期	前期比
売上高	35,222	40,000	+13.6%
営業利益	1,321	2,000	+51.4%
経常利益	807	1,900	+135.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	△150	100	+250百万円

■ 売上高

既存事業の継続的成長に加え、前期に取得した連結子会社の売り上げを見込む

■ 営業利益

新事業の立ち上げによる先行費用約8億円を織り込む

■ 純利益

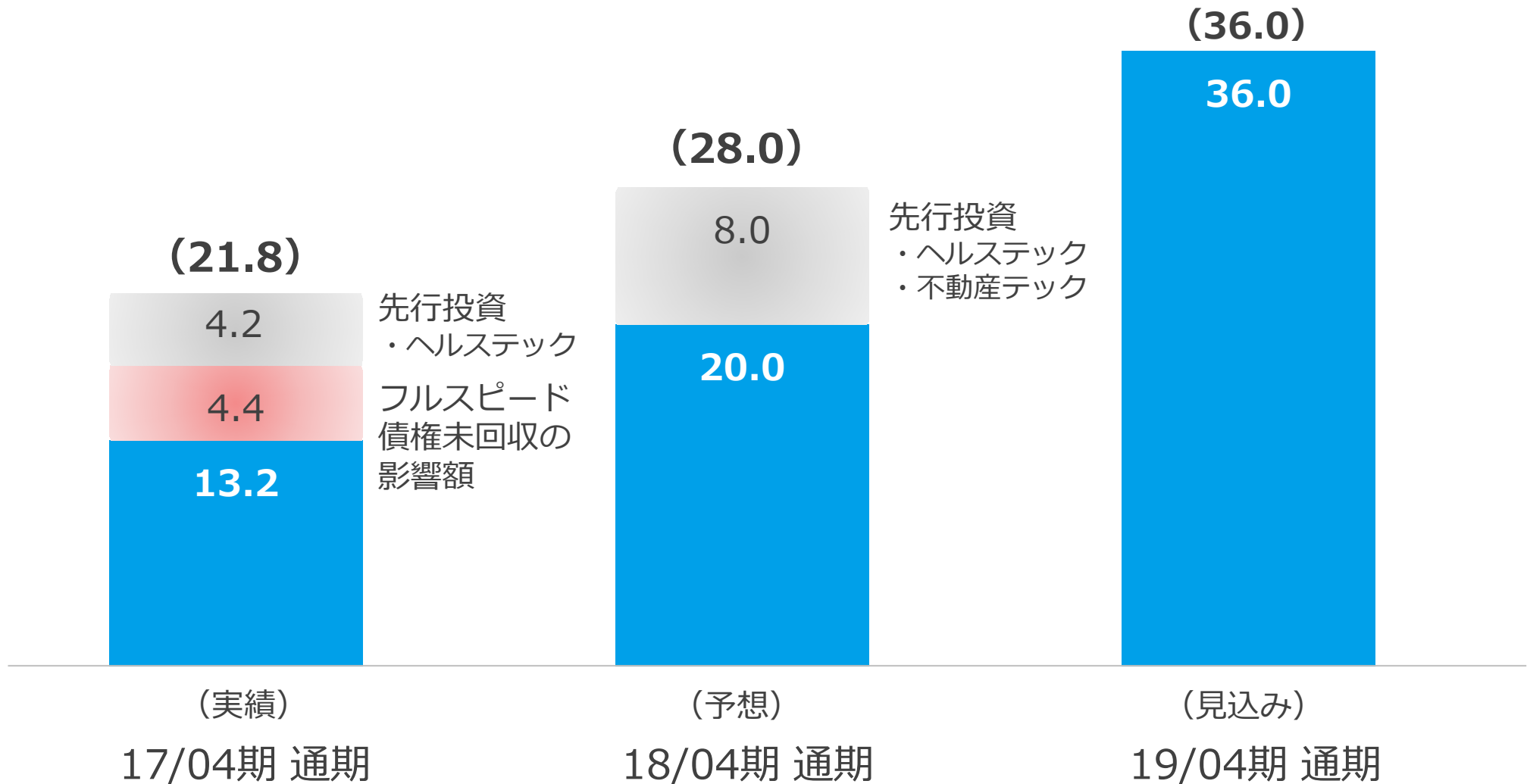
利益増加による法人税等増加（約5.0億円増）に加え、GP社及びFS社の非支配株主に帰属する当期純利益等約5.1億円により、1.0億円の見込み

※現在は、連結において子会社群の利益貢献度が高く、営業利益、経常利益に比べ純利益の額が減少してしまうため、FB本体の利益増加が中長期の課題

※連結上の税率と実効税率の乖離の主な要因は、のれん償却（年間約7.0億円）によるもの

今後の営業利益見込み

(単位:億円)



20年4月期目標に向けて、事業基盤拡大に投資をしながら利益の増加を目指す

2018年4月期 当期業績予想

(単位:百万円)

セグメント名	売上高			セグメント利益		
	17/04期 通期実績	18/04期 通期予想	前期比	17/04期 通期実績	18/04期 通期予想	前期比
ブロードバンド事業	10,131	11,037	+8.9%	1,717	1,630	△5.1%
モバイル事業	8,628	9,797	+13.6%	△327	△213	+113 百万円
アド テクノロジー事業	14,557	15,890	+9.2%	900	1,577	+75.1%
クラウド事業	1,945	1,876	△3.6%	140	237	+68.7%
ヘルステック事業	254	985	+286.4%	△324	△469	△145 百万円

※17/04期第3四半期から連結化

2018年4月期の見通しと注力施策

■ブロードバンド事業



- マンションインターネットは、提携先大手ハウスメーカー向け提供戸数の増加とともに付加価値サービスを展開する事でさらなる売上拡大を狙う
- 個人向けサービスでは、**ドコモ光とDTI光の販売体制を強化しユーザー数拡大施策**を行うことで売上及び利益の拡大を目指す

■モバイル事業



- モバイル市場における競争は激化しつつもMVNO市場はさらなる成長が見込まれ、引き続き**OEMの推進と個人ユーザーの積極的な獲得によってシェア拡大**を図る
- 長期的視点に立ち先行投資は継続。シェア拡大と将来のコストダウンで黒字化を目指す
- モバイルサービスの付加価値サービスを事業化
- IoT市場向けSIMサービスの拡販により売上拡大を狙う

■アドテクノロジー事業



- 独自のアドテクノロジープラットフォームを開発し、クライアントからパブリッシャーまでを一気通貫したサービスを完成させ、**代理店数の増加及び連携強化により、顧客拡大を目指す**
- **アフィリエイトは市場成長以上の伸びを継続**。業界ポジションが向上したことによりサービスブランド及び企業認知度も向上
- 自社開発サービスの開発を加速

2018年4月期の見通しと注力施策

■クラウド事業



- 新モバイルサービス「フリービットクラウド セキュリティSIM」とのセット販売により、注力商材「フリービットクラウドVDC」を中心としたクラウドサービスやネットワークセキュリティサービスの拡販を推進
- 大手SIerと協業し、日本市場特有のニーズに合致したサービスの開発及び販売網の拡大を積極的に推進
- 新サービス「ClearBox Cloud」の拡販を推進

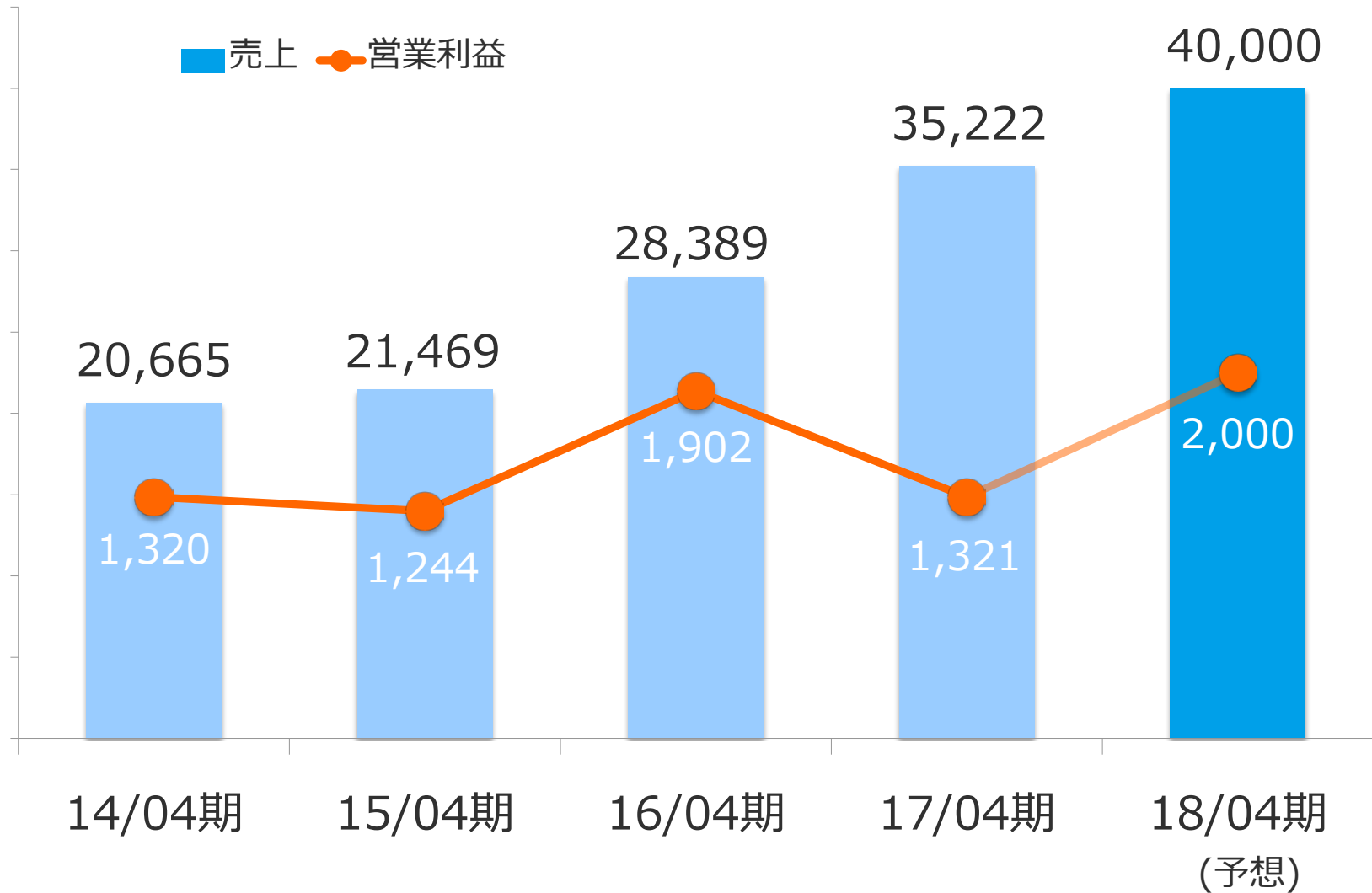
■ヘルステック事業



- 今期は成長のための投資フェーズのため赤字を見込むものの、**メ**ディアのPV数、集客数及び提携薬局数の継続した成長を図る
- 今期単月黒字を図る

フリービットグループ業績推移

(単位:百万円)





毎日、発明する会社

※ すべてのブランド、製品名、会社名、商標、サービスマークは各社に権利が帰属します。

參考資料

フリービット用語集

用語名	説明
AdMatrix (アドマトリックス)	フルスピードが提供する広告運用統合プラットフォーム。サイト利用者が広告を認知してから申し込みや購入に至るまでの導線の全てを一元管理することで、広告効率の最大化を実現する。
Fin Tech (フィンテック)	金融の領域においてITを活用する動きまたは新しいサービス。
freebit MVNO Pack	当社が提供する、あらゆる事業者が低コスト・低リスク・短期間でMVNOを事業化できるパッケージサービス。
Health Tech (ヘルステック)	医療・健康等の領域においてITを活用する動きまたは新しいサービス。
IaaS	情報システムの稼働に必要な機材や回線などのインフラを、インターネット上のサービスとして遠隔から利用できるようにしたもの。
IoT	モノに通信機能を持たせてモノ同士が相互通信することにより、ヒトが介在することなく自動認識や自動制御などが行える仕組み。
ISP	インターネット接続業者。 通信回線を通じてPC等をインターネットに接続する事業者。
LoRaWAN™	非営利団体LoRa Alliance™が普及を推進する、低速ながら低消費電力で長距離伝送できる無線規格の1つ。
MVNE	MVNOの事業参入支援等を行う事業者。
MVNO	ドコモ、KDDI、ソフトバンクのような無線通信基盤を有する通信事業者から、回線を借りて独自の通信事業を行なう事業者。
Robotics (ロボティクス)	ロボットの設計・製作・制御をはじめ、ロボットを活用した産業、応用に関する分野を指す。
Sharing Economy (シェアリングエコノミー)	個人が保有するモノやスキル等の貸出を仲介するサービス。

用語名	説明
VDC (Virtual Data Center)	データセンターの機能を仮想的に構築し、インターネット上から利用できる仕組みまたはサービス。
VPS (Virtual Private Server)	レンタルサーバの一つ。共用サーバながら仮想的に専用サーバと同等の機能を提供するサービス。
アドテクノロジー (アドテク)	インターネット広告における配信技術や広告流通に関する技術。
アドネットワーク	Webサイトやアプリケーションなど、広告配信が可能な複数の媒体を束ねたネットワークを形成し、広告をまとめて配信する仕組み。
アフィリエイト (アフィリエイト広告)	Webページ等に貼った広告媒体のリンクを経由して、広告主のサイトで会員登録や商品購入をした場合に、リンク元の媒体運営者報酬が支払われる広告またはその仕組み。
インバウンド	海外からの訪日外国人旅行者。
スパコン	スーパーコンピューティングの略称。大規模な高速演算処理が可能な技術。
ハイブリッドクラウド	パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせ、高いセキュリティと柔軟なインフラ環境の構築や運用を最適なコストでの提供を実現したもの。
ハウジング	ユーザーがサーバ等の機材を用意して事業者に預けるサービス。
光コラボ (光コラボレーション)	NTT東日本、NTT西日本が提供するフレッツ光サービスの再卸提供モデル。
不動産Tech	不動産の領域においてITを活用する動きまたは新しいサービス。
ホスティング	事業者が用意したサーバを貸し出すサービス。
モバビジ	当社が提供する、PBX機能をクラウド上に持たせ、スマートフォンで利用できるビジネスフォンサービス。